

## 事務事業及び予算の執行実績

(令和4年度分「一部、令和5年度分を含む」)

静岡県立富士特別支援学校

# 目 次

□□□□□□	事務事業の概要	・ ・ ・ ・ ・	1
□□□□□□	事務執行の根拠法令調	・ ・ ・ ・ ・	37
□□□□□□	学校施設の概要	・ ・ ・ ・ ・	38
□□□□□□	在籍児童生徒調	・ ・ ・ ・ ・	41
□□□□□□	入学志願者及び入学者数調	・ ・ ・ ・ ・	43
□□□□□□	卒業生の動向調	・ ・ ・ ・ ・	45
□□□□□□	生徒の状況	・ ・ ・ ・ ・	46
□□□□□□	特別支援学校における生産物売払調	・ ・ ・ ・ ・	49
□□□□□□	預金調	・ ・ ・ ・ ・	53
□□□□□□	郵券等受払調	・ ・ ・ ・ ・	53
□□□□□□	材料品受払調	・ ・ ・ ・ ・	54
□□□□□□	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	・ ・ ・ ・ ・	55
□□□□□□	委託料に関する調	・ ・ ・ ・ ・	56
□□□□□□	負担金支出調	・ ・ ・ ・ ・	60
□□□□□□	建築工事調	・ ・ ・ ・ ・	61
□□□□□□	公有財産調	・ ・ ・ ・ ・	63
□□□□□□	借地借家等調	・ ・ ・ ・ ・	67
□□□□□□	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	・ ・ ・ ・ ・	68
□□□□□□	行政財産貸付・使用許可調	・ ・ ・ ・ ・	69
□□□□□□	主要備品調	・ ・ ・ ・ ・	70
□□□□□□	公務中の事故等に関する調	・ ・ ・ ・ ・	71
□□□□□□	工事中の事故に関する調	・ ・ ・ ・ ・	72
□□□□□□	前回の監査結果等改善状況調	・ ・ ・ ・ ・	73
□□□□□□	職員調	・ ・ ・ ・ ・	74
□□□□□□	職員の年齢調	・ ・ ・ ・ ・	82
□□□□□□	健康管理	・ ・ ・ ・ ・	83

## 事務事業の概要

## 1 概況

## (1) 学校の沿革

## &lt;本校&gt;

平成元年	4月 1日	富士地区新設養護学校設立準備委員長、委員2人発令
	12月13日	11月県議会で設置条例議決 校名を「静岡県立富士養護学校」と決定
平成2年	3月16日	南棟校舎完成
	4月 1日	静岡県立富士養護学校開校
	4月 7日	開校式及び小学部・中学部入学式举行 小学部73人 中学部54人 訪問教育12人 計139人
	7月31日	北棟、中棟校舎完成
平成3年	1月31日	プール完成
	3月 8日	体育館完成
	4月 1日	高等部認可開設
平成4年	4月 1日	文部省から「社会の変化に対応した新しい学校運営等に関する調査研究協力校」の指定(2年継続)
平成6年	3月20日	南棟エレベーター設置
	4月 1日	文部省「特殊教育実験学校(職業教育に関する研究)」の指定(3年継続)
平成9年	4月 1日	高等部肢体重複学級認可
平成12年	1月30日	創立10周年記念学習発表会 創立10周年記念誌発行
	4月 1日	高等部訪問教育認可
平成16年	4月 1日	高等部知的重複学級認可
	6月25日	富士地区就業促進協議会発足
平成19年	6月19日	富士地区障害児(者)支援連携協議会発足
平成20年	4月 1日	校名を「静岡県立富士特別支援学校」に改正
平成21年	3月23日	新棟校舎完成
平成22年	2月23日	創立20周年記念式典 創立20周年記念誌発行
令和2年	12月5日	創立30周年記念授業公開 創立30周年記念コンサート 創立30周年記念誌発行

## &lt;富士宮分校&gt;

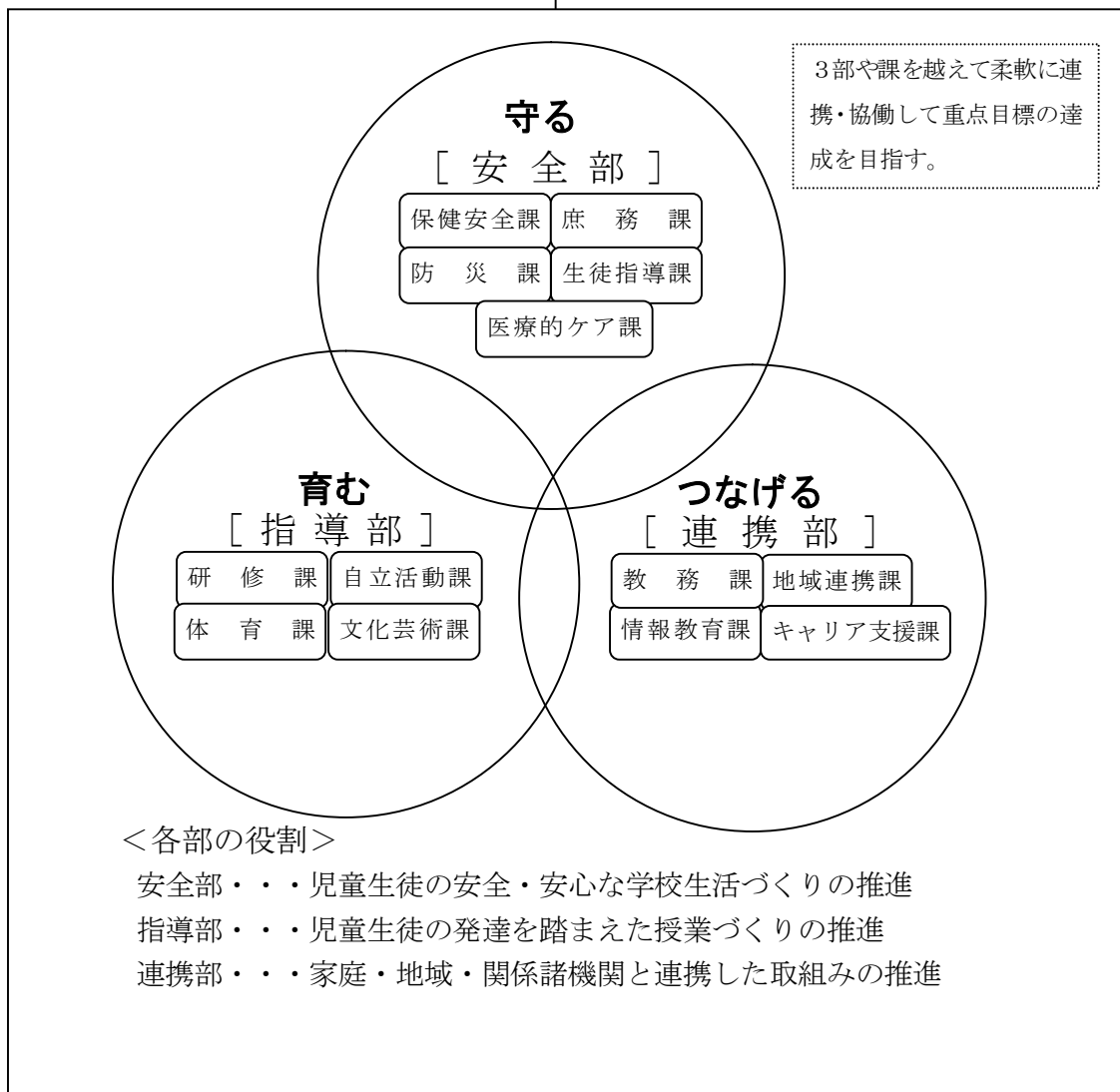
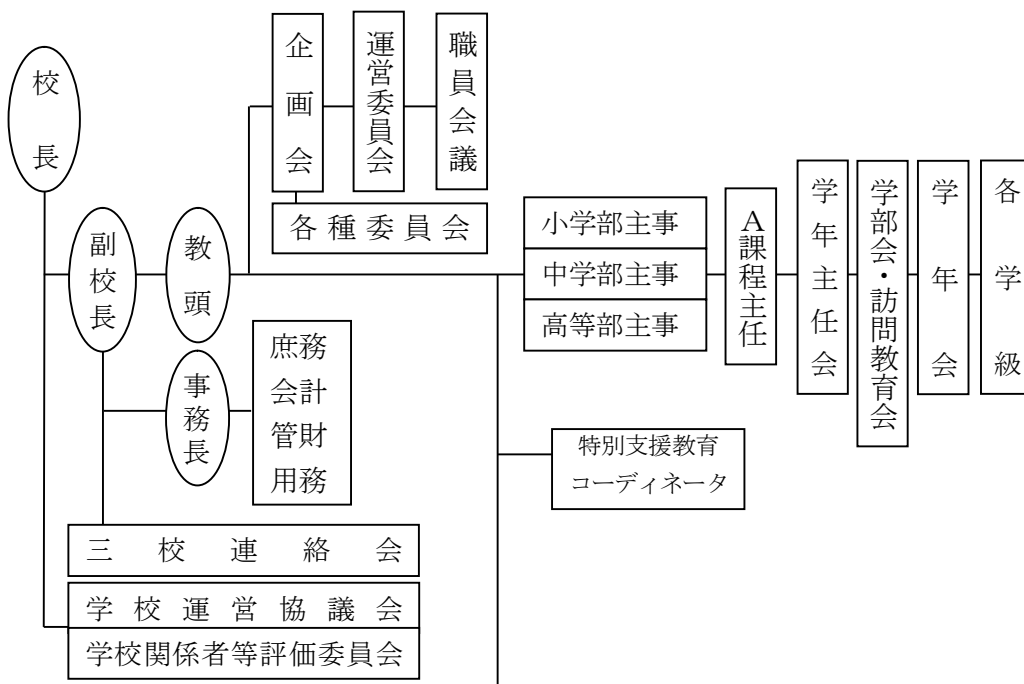
平成22年	4月 1日	高等部分校設置準備委員長、委員6人発令
平成23年	3月 9日	富士宮分校校舎完成
	4月 1日	富士宮分校開校
	4月 7日	富士宮分校開校式及び入学式举行
令和3年	11月19日	学校環境緑化完成記念式典「10周年記念宮分プロジェクト」

## &lt;富士東分校&gt;

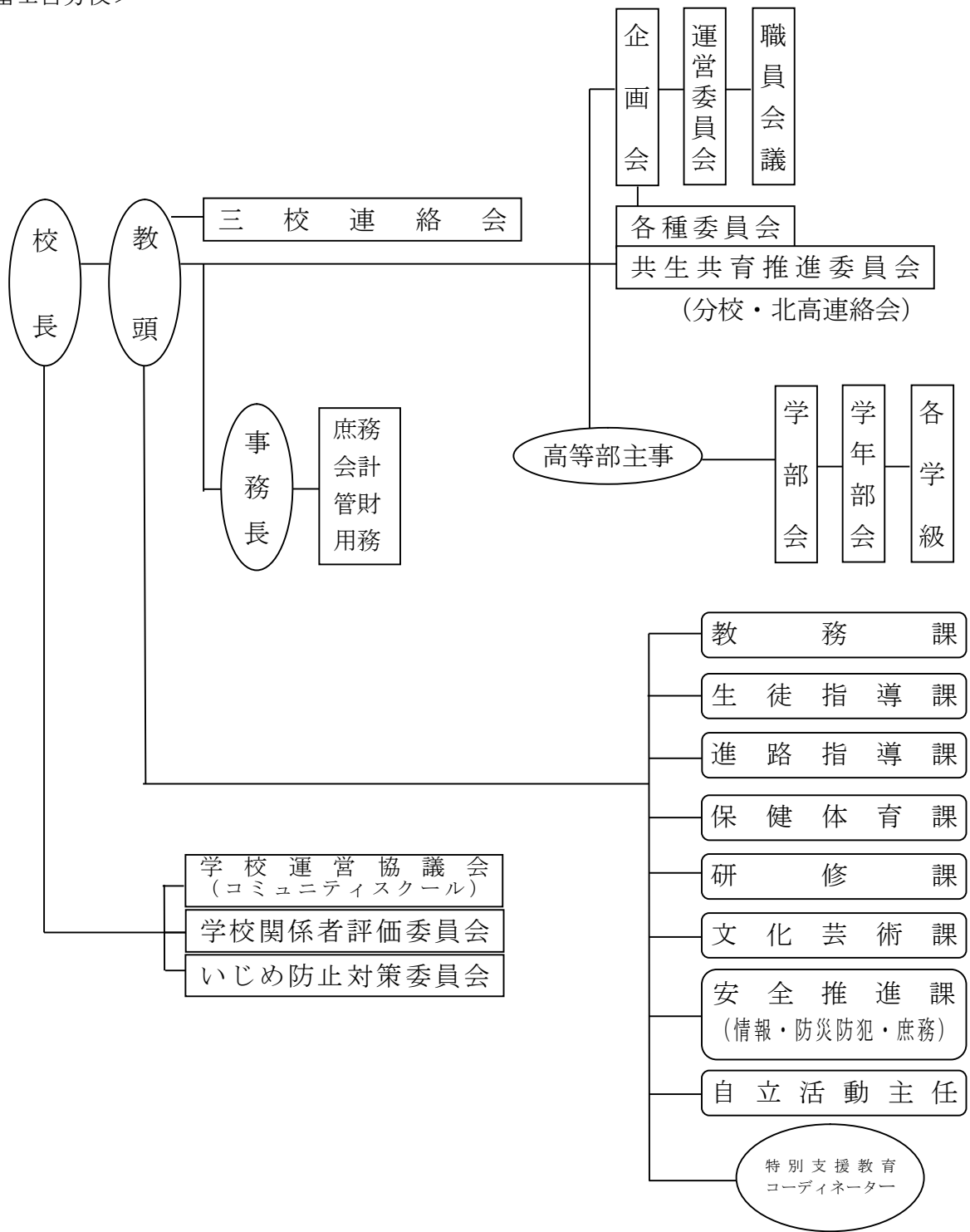
令和4年	4月21日	高等部分校設置準備委員長、委員7人発令
令和5年	4月 1日	富士東分校開校
	4月11日	富士東分校開校式及び入学式举行

(2) 組織図

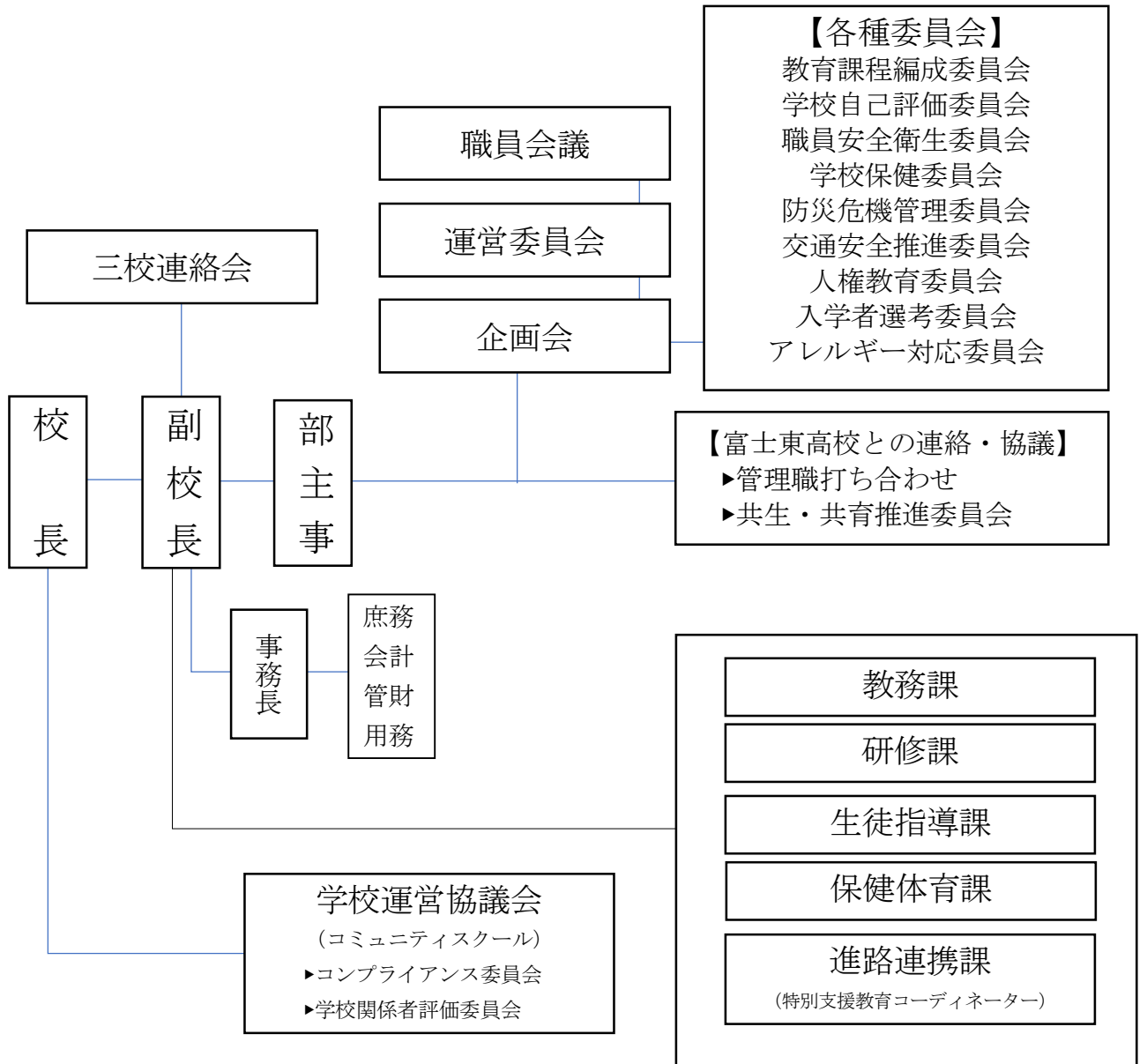
<本校>



< 富士宮分校 >



<富士東分校>



## 2 目指す学校像

### <本校>

#### 1 教育目標

「富士に向かってはばたく、たくましく生きる人」を育てる。

#### 2 目標具現化の柱

ア【守る】安心・安全な学校づくり

イ【育む】「社会で協働する人」を目指した授業づくり

ウ【つなげる】家庭・地域・関係諸機関との連携づくり

### <富士宮分校>

#### 1 学校教育目標

「富士に向かってはばたく、たくましく生きる人」を育てる。

#### 2 分校教育目標

「地域の一員として、主体的に社会で生きる人を育てる。」

#### 3 目標具現化の柱

ア【守る】安心・安全で明るい学校生活を築き、生徒が命を大切にする心と行動を育む。

イ【育む】「主体的に社会で生きる人」を目指し、生徒一人一人が成長・発達できる学びを充実させるとともに教職員の専門性とチーム力を高める。

ウ【つなげる】共生・共育の充実を図り、家庭や地域とともに喜びあふれる学校づくりを推進する。

### <富士東分校>

#### 1 学校教育目標

「富士に向かってはばたく たくましく生きる人」を育てる

#### 2 分校教育目標

「良さを磨き 共に学び 社会で協働する人」を育てる

#### 3 目標具現化の柱

ア【守る】安心・安全な学校づくり

イ【育む】「社会で協働する人」を目指した授業づくり

ウ【つなげる】家庭・富士東高等学校・地域・関係諸機関との連携づくり

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 4年度の取組目標への評価及び成果と課題（重点目標はゴシック体で記載）

<本校>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア 【学校の安心安全】	豊かな心と健康な体をつくる	①健康な体をつくる活動の充実が図られている。	<p>体育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板に各学部で実践例をあげた。</li> <li>・性教育の講演会実施</li> </ul> <p>保健安全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象児をピックアップしての「健康づくり教室（肥満改善指導）」を本格的に実施した。週1回の体重測定や栄養指導を行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践例を各学部で学期に1回掲示板に載せたことで、授業に生かすことができた。</li> <li>コロナ禍で活動場所や活動内容を工夫しながら、取り組んだので、学期に1度ではなく、単元や学期に2回程度に増やして、健康な体をつくる活動の充実が図られるように共有していきたい。</li> <li>・対象児の週1回の体重測定や家庭への栄養指導が定着した。毎日の朝トレ、体育等で体を動かす機会を意図的に設定することができた。健康ダンスのDVDを希望する対象児の家庭に配布し、更なる家庭との連携を図った。校内の児童生徒の肥満度を再チェックし、継続的に健康管理を行う。</li> </ul>
		②表現の喜びを高める美術・音楽の指導の充実が図られている。	<p>文化芸術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板での図・美作品紹介、夏季教材教具展での楽器の紹介を行った。</li> <li>・校内に作品を展示</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して作品、技法の紹介を行った。要望のあった、小・中学校の図工</li> <li>・美術の教科書の購入を検討したい。</li> <li>・教材教具展で楽器の紹介をし、活動例を展示したが、伝えきれないものがあつた。来年度はワークショップのような形で説明、活動体験できるとよい。</li> <li>・学年や実習支援員の協力により、作品展示ができた。展示した作品を鑑賞する助けになるよう、作品リストの公開等を考えていきたい。キャプションについては、今年度と同様の形式で進めたい。</li> </ul>
		③本との出会い、人との関わりを大切にしたい読書活動の充実が図られている。	<p>文化芸術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアによる読み聞かせの実施</li> <li>・校長によるお薦め本の読み聞かせを実施した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書ボランティアによる読み聞かせを3回実施した。来年度はより多くの集団に利用してもらえよう、考えていきたい。</li> </ul>



		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中の読書週間の実施、高等部の生徒が昼の放送でおすすめ本の紹介や詩の朗読などを行った。</li> <li>・新規購入図書とりまとめ、発注、ブッカー掛けを行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書週間では、昼の放送を活用した呼びかけや情報提供、テーマのある本の展示をしたことで、教職員にも広がりがあった。掲示板も活用していきたい。より、本に親んでもらえるような取り組み、読書の日や朝読書の設定等を考えたい。</li> </ul>
	④児童生徒が安心して学校生活を送れるような心の安定が図られている。	<p>自立活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OJTにてコミュニケーション支援の研修(動画視聴)</li> </ul> <p>地域連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラー、ほっとステーション、個別の対応相談、ケース会議等を実施</li> </ul> <p>保健安全</p> <p>コロナ感染症等状況に応じた対策の実施と、安全管理に関する教員間の共通理解を図った。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の心の安定につながった指導について学び合うことができた。情動調整、コミュニケーション、障害理解などが要となるので、理解や実践の充実を図る取り組みをしたい。</li> <li>・個々のニーズに応じて利用できるように相談の場が複数設置されている。さらに相談しやすくなるように相談の場の周知、事例紹介等を工夫したい。</li> <li>・中高生のスクールカウンセラー、ほっとステーション利用を計画的に実施したい。</li> <li>・継続的な感染対策・安全管理のもと児童生徒の怪我や発病に対して、職員が適切に対応できた。気を緩めることなく、継続的な感染対策と安全管理を行う。</li> </ul>
	⑤道徳教育、人権教育の充実が図られている。	<p>生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権研修会、人権チェックリストの活用、人権目標の発信により人権について意識しやすい体制であった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育全体計画に沿い、各学部であいさつ運動を実施した。2か月毎の人権目標を児童生徒が作成掲示した。道徳教育全体計画、人権教育全体計画の活用</li> </ul>
	⑥食育の充実を図る日常的な指導に取り組んでいる。	<p>保健安全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食に関する指導の全体計画の見直しを行った。</li> <li>・テーマのある献立の工夫</li> </ul> <p>食堂前の掲示、昼の放送、パソコン掲示板を活用した情報発信</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食献立の食材紹介、家庭科での栄養素等の学習、生単での季節の野菜の栽培、地域の食材についての学習、朝の会での給食の献立紹介食に関して学ぶ場を工夫して設定した。調理実習は、再開の目途が立たないが、食に関する学習の場を引き続き意図的に設定する。</li> </ul>

安心安全な教育環境をつくる	<p>【日常的な対応】</p> <p>⑦新型コロナウイルス感染症対策が徹底されている。</p>	<p>保健安全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策の新しい試みを幾つか実践した。</li> <li>・富士特ガイドラインの改定版を作成中</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新富士特ガイドラインに改訂した。迅速に感染状況を把握し、感染拡大にならないように、早めに感染対策の強化（手洗い・消毒・マスク・ディスタンス・換気はもとより、集団から少人数にする等の学習形態を変える、必要に応じた検温等）を行った。継続的な感染対策と、感染状況の迅速な把握と早めの対応に努める。予算と感染対策効果を考慮しながら必要な物品を購入する</li> </ul>
	<p>⑧学習環境の整備と日々の安全点検により事故防止に努めている。</p>	<p>庶務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めにごみの分別方法の説明を行った。毎月清掃の重点を設定し、掲示板で呼びかけた。他分掌と連携し、環境整備に努める。</li> </ul> <p>体育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育用具や体育施設等の安全点検による環境整備を実施</li> </ul> <p>保健安全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・KYT研修、毎月の安全点検の実施による、安全な学習環境づくりを行っている。</li> <li>・保健管理ファイルの配布と活用を促進している。</li> <li>・事故報告を掲示板で全職員に発信し、事故防止の啓発に努めている。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報教育課や保健安全課と連携し、職員室内の文書棚整理や校内の安全点検、週末清掃の呼びかけをし、事故防止に努めた。今後も、保健安全課の安全点検と連携し、事故防止に努める。</li> <li>・ごみの分別は、一年を通して分別間違いが減り、児童生徒も意識して分別をすることができた。引き続き実習支援員と連携する。</li> <li>・破損や紛失などがあった場合に、早急に掲示板で周知し、対応することができた。使用頻度の高い用具は破損したり使用時間がかぶってしまったりするので、数を増やし、活動に支障が出ないようにする。どこに何がいくつあるのか共有できるようにしていきたい。</li> <li>・KYT研修・毎月の安全点検を行い事故防止に努めた。</li> <li>・保健管理ファイルの周知・活用を促した。</li> <li>・事故報告書の作成に際しては、具体的な記述がなされるようになってきた。引き続き、年2回のKYT研修、月1回の安全点検を実施し、事故防止に努めるが、危険個所を発見した場合は、安全点検を待たずに、迅速に改善するように周知していく。</li> <li>・保健管理ファイルの内容を見直し、最新の内容を周知できるよう</li> </ul>

			にする。
⑨教員間、看護師、医療機関との連携による医療的ケアが安全に実施されている。	医ケア ・医ケア代表者会での情報共有と協議の実施等により安全な体制をつくる。	A	・看護師と教員、養教が医ケア生について日々の様子を情報共有し、必要に応じ医師の意見を聞くことができた。富士特医ケアの手引きの周知に努めていく。
⑩アレルギー対応等の給食の安全が図られている。	保健安全 ・アレルギー対応に関しては、対象者への取り組みプランを作成し、アレルギー対応委員会で検討している。アレルギー対応食の配膳ミス防止に向けた対応マニュアルを作成中	A	・定例のアレルギー対応委員会を実施し、アレルギー対応に関する取り組みを検討し、事故防止に努めた。 ・「食物アレルギー対応について」のマニュアルを作成し、アレルギー除去食の安全な配食に努めた。 ・年度当初、食物アレルギー対応に関するマニュアルを全職員に周知し、共通理解を図る。 ・食物アレルギーの児童生徒がいる該当学年の全職員対象の説明会を引き続き行い、事故防止に繋げる。
⑪情報セキュリティの管理に努めている。	情報 ・随時対応改善を行い、学習環境を整えている。 ・年度初めにセキュリティポリシーを確認したことで、日頃から気を付けて行動している職員が多かった。	A	・印刷物の取忘れや印刷ミスをなくすために、パスワード印刷の活用、セキュリティワイヤーの使用、デジタルカメラの管理方法を統一する等、情報セキュリティの管理に努めることができた。デジタルカメラやiPadが一時的な紛失、テレビの破損が多くみられ、教職員一人ひとりの情報機器の管理意識について課題が残った。
【緊急時対応】 ⑫緊急時の教職員のとるべき行動が周知徹底されている。	生徒指導 ・緊急時対応マニュアルを各教室に掲示 ・防災訓練、引き渡し訓練の実施 ・学年単位で緊急時体制訓練を実施した。 ・4月当初に全職員に向けて緊急時マニュアルの周知、各教室への簡易マニュアル掲示  医ケア	A	・児童生徒検索時、検索マニュアルを活用し、迅速な対応をすることができた。不審者対応、生徒検索の実地訓練の実施  ・看護師と養護教諭を交えた学年

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の危機管理意識を高め、事故防止に努める。</li> </ul> <p>体育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱中症での事故防止のためのミニ講習会実施</li> </ul> <p>保健安全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急法講習会（60名の教職員）の実施</li> <li>・てんかん講習会の実施</li> </ul>		<p>毎の緊急体制訓練、リスクマネジメント研修で、危機意識が向上した。次年度も引き続き実施していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対応について県からの通知内容を課会で共有し、各学部学年で対応の徹底を図ることができた。引き続き、熱中症予防や怪我防止、道具の使い方等の講習会を行い、いざという際に素早く行動できるように共有したい。</li> <li>・緊急対応の流れ図の見直しを行った。2回目の緊急体制訓練を行い、学年毎に緊急対応への意識を高めた。</li> <li>・年度当初、学部毎に緊急対応の流れ図や嘔吐物処理について確認し、迅速に適切に対応できるようにする。</li> <li>・てんかん講習会は年度初め、救急法講習会は1学期中旬をめぐりに実施し、職員の知識と意識の向上と緊急時における適切な対応ができるようにする。</li> </ul>
	【災害時対応】 ⑬福祉避難所運営を検討している。	<p>防災</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月に避難所運営に関する協議を富士市と実施</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉避難所協定に関する協議会を富士市と富士宮市の関係部署と各2回実施した。</li> <li>・夏季研修会として福祉避難所についての説明と防災倉庫の備品確認等の研修を行った。</li> </ul>
	⑭災害時にとるべき行動を全教職員が理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マニュアルの周知、災害時初期メンバーの打ち合わせ実施</li> <li>・防災に関する研修実施</li> <li>・はごろも夢講演会</li> <li>・福祉避難所設営研修</li> <li>・HUG研修</li> <li>・被災地オンライン研修</li> </ul>	A	<p>はごろも『夢』講演会で保護者と教員のそれぞれの防災対策について確認することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策本部と防災課員を中心にHUG研修と東日本大震災の語り部によるオンライン研修を行い避難所開設や運営についての理解を高めることができた。</li> </ul>
	⑮家庭・地域と連携した災害時の防災体制の強化に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月にPTAの役員と本校の防災に関する協議を実施</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の備品点検日に合わせてPTA役員による防災倉庫の見学会と発電機の操作体験を行った。</li> <li>・学校運営協議会で福祉避難所の課題についてグループワークを実施、検討した。</li> </ul>

			医ケア ・災害時の対応について周知する。		・医ケア生の災害時対応について、医ケアだよりやアンケート、代表者会等で周知に努めた。看護師と教員の防災用品の確認は今後も継続していく。
イ【児童生徒の学び】	主体的、対話的で深い学びを実現する授業を展開する	⑩研究テーマ「考え・伝え・やってみる』児童生徒を育てる授業づくり～『主体的・対話的で深い学び』の実現を目指して～に基づく授業研究の充実が図られている。	研修 ・研究テーマに基づく授業の充実のため、グループ研究や、他学部参加の前期授業研究会を実施 ・授業づくりを学ぶ機会として講師による講演の企画	A	・実態把握を充実させることで、児童生徒が力を発揮するための支援を充実させることができた。公開研究やグループ研究では、授業づくりのための建設的な意見交換を行い、学びを深め合うことができた。中心授業から得た学びを、日々の授業づくりに生かしていくことが課題
		⑪系統性と教科等横断的な視点での指導計画の見直しが図られている。	教務 ・1学期分の学びの履歴記入と年計修正  研修 ・児童生徒の実態に即した目標設定や支援の充実を目指し、『発達の視点からみた実践指標』の活用を推進	A	・学びの履歴を活用することが定着し、系統性と教科等横断的な視点を意識する教員が増えた。学習指導要領をより意識した指導計画や授業実践となるよう進めていく。 ・前期に引き続き、発達階層を意識しながら、児童生徒の目標や課題、必要な支援を考えることができた。 ・自立活動課や情報課と連携し、生徒の生活とつなげたり、より効果的な支援を考えたりしていく必要がある。 ・年間計画や指導形態を理解し、活動の意図や根拠への捉えを明確に持てるようにしたい。
		⑫児童生徒の実態に応じたタブレット端末の効果的な活用を行っている。	情報 ・有用なアプリ取り入れて、活用方法を紹介することで、児童生徒がタブレットに触れ、活用方法の幅が広がった。	A	学習会を行い、教職員がタブレットへの意識を高めることができた。現状は、活用するだけで留まっており、効果的な活用までには至っていない。
	導の充実を図る キャリア発達を促す指	⑬12年間のつながりと「この時期に、これが大事」を重視した授業実践が行われている。	教務 ・学びの履歴を活用し、学習指導要領を基にした指導計画の作成と修正	A	・学びの履歴をもとに、プロジェクトが主導して12年間のつながりを見直すことができた。補正した計画で実践を行うとともに、つながりを意識して改善を行う。

		⑳他学部を意識した系統性のある授業が計画・実践されている。	12 つながりプロジェクト ・目指す児童生徒像の12年間のつながりを検討した修正案の提案 ・各学部の年計の補正案の提案及び修正に係る検討会の企画		・年間指導計画の見直しにより、系統性を意識した指導の充実につながってきている。 ・プロジェクトの成果物(つながり一覧、基本年計)を周知し、活用するための研修機会の設定、シラバスの作成、教科部会や他学部教員とのOJT、系統的なつながりを理解する交流機会の設定を行う。
		㉑学年に応じたキャリア発達支援の充実が図られている。	キャリア支援 ・OJTの実施 ・12年間のつながりプロジェクトからの提案	A	・全体のOJTを実施し、キャリア支援について確認することができた。学部・学年の段階にあった実施を検討していく。
	発達段階を踏まえた授業・指導の充実を図る	㉒自立活動に関する教員の専門性の向上に取り組んでいる。	自立活動 ・自立活動ハンドブックの配布、学習会の実施2回	A	・研修の機会の提供と情報発信について、高評価や指導に活用したという意見をいただいた。
		㉓実態把握に基づいた自立活動の指導(「時間の指導」を含む)の充実が図られている。	・自立活動に関する用語の紹介3回 ・テーマ別研修会8/2 ・教材教具展7/28～8/2 ・言語聴覚士、作業療法士の訪問指導各年2回 ・自立活動研修会年3回 ・情報発信3回	A	・テーマ別研修会や教材教具展で、実際に教材を手にしたり、使ったりして学び合う機会を設けたことに評価が高かった。 ・研修や提供した情報の活用や、実際の指導をどうするかは、学年やグループ等での実践や進め方による。 ・「自立活動」に関する基本的な確認が必要かもしれない。(教育課程、時間における指導、自立活動を主とした指導など)
ウ【学校・家庭・地域のつながり】	特別支援教育のセンター的機能を発揮する	【校内】 ㉔外部機関等との連携による児童生徒の安心・安全な生活支援を行っている。	地域連携 ・適宜校内ケース会議を開催し、必要に応じて外部機関との連携を図った。	A	・校内や外部機関との連携により、足並みを揃えて多方面から支援を行えるようになってきている。関係機関との個別の情報交換やケース会議の実施について、校内、保護者、各事業などに周知していく。
		【校外】 ㉕教育相談、研修支援、関係会議への組織的な参画と社会貢献を行っている。	地域連携 ・センター的機能紹介のチラシを関係機関に配布 ・要請に応じて、教育相談、研修支援を実施 ・関係会議には各担当者が出席	A	・個々の相談ニーズに対応することができた。 ・会議や研修会の情報をNES掲示板で伝えるように努めた。本校の学校生活や教育内容を紹介する場になっている。外部機関の各会議の位置づけに応じて出席者

				や情報提供の仕方などを整理し、適正に業務を分担できるように調整したい。
家庭・地域関係機関と協働する	②⑥学校、保護者、関係機関の連携協力を図るために個別の指導計画、個別の教育支援計画をツールとして活用している。	<p>地域連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の基本情報として個別のケースファイルに綴じ込み、随時活用できるようにしている。</li> </ul> <p>キャリア支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路コーナーを充実させた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活用できている学部・学年がある一方で活用方法が分からないという声もある。事例を紹介するなどして教員の理解を進めたい。</li> <li>・放デイ等の外部機関との連携に個別の教育支援計画を活用できるようにしたい。</li> <li>・高等部職場実習での実態説明やケース会議における資料として活用し、関係機関との連携を図ることができた。今後も適切な活用と内容の精選を行っていく。</li> </ul>
	②⑦家庭・地域への分かりやすい情報発信に努めている。	<p>情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ホームページのリニューアル、COCOO（ココ）の活用</li> </ul> <p>地域支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりを大淵地区と関係事業所に配布</li> </ul> <p>文化芸術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に作品交流や校外展示を進め、作品を通じた情報の発信</li> <li>・応募可能なコンクールや作品展の情報発信</li> </ul> <p>キャリア支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路コーナーに作業製品を展示</li> <li>・学校見学会の実施</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末にホームページをリニューアルし、わかりやすくしたことやCOCOOで出欠連絡やお知らせを行う等、スムーズな情報伝達を行うことができた。</li> <li>・地域のイベントや保護者向けの学習会の案内等を、教員の業務量をあまり増やさずにタイムリーに保護者に伝えるようにしたい。</li> <li>・作品交流や校外展示は計画的に進めることができた。校外の芸術祭に初めて出展することになった。本校の関係者だけではなく、一般の方にも広く作品を見ていただける機会を大事にしていきたい。</li> <li>・コンクール等掲示板の案内への反応が多くあった。</li> <li>・進路懇談会を行ったり、進路コーナーを充実させたりして、保護者に情報用を発信できた。学校見学会や学校展を行い、地域や企業に学校を知ってもらう機会とした。ホームページを活用した情報発信を行っていききたい。</li> </ul>

		<p>⑳地域資源・人材を活用した学習活動が展開されている。</p>	<p>教務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の利便性を考慮し、学校だよりに翌月中旬までの予定を掲載</li> </ul> <p>地域連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌やポスターで地域資源等を紹介</li> <li>・活動団体から学校関係者への紹介依頼を受けた。</li> </ul> <p>文化芸術課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師を依頼して、ドラムサークルの授業を行った。</li> </ul>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士の子だよりでは、翌月までの予定を掲載し、今後の学校予定を分かりやすく伝えた。</li> </ul> <p>㉗と同じ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドラムサークルを各学部で実施できた。来年度は年間を通して継続した実施を検討したい。</li> </ul>
<p>エ【教職員の専門性と働き方】</p>	<p>基礎・基本の学び合いを深める</p>	<p>㉙特別支援教育の基礎・基本の理解を深める取組を行っている。</p>	<p>地域連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関から学校へ通知されたものや研修会等で紹介された情報を掲示板で紹介した。</li> </ul>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても多くの情報が届き紹介しきれないものも多かった。テーマを絞る、重要度や優先度を考慮する等運用の仕方を工夫しタイムリーな情報提供を目指す。</li> </ul>
	<p>チームで業務に取り組む</p>	<p>㉚業務のスリム化を目指した見直しが進められている。</p>	<p>教務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各業務を見直し改善を図り、関係職員に周知している。</li> </ul> <p>地域連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分掌会議は毎回予定時刻前終了し、会議開催の必要がないときは中止した。</li> </ul> <p>チーム学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に努力が感じられ、会議数が減った等改善傾向にはあるが、それぞれの担当している業務によっては差がある。</li> </ul>	<p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書類記入の間違いを分析しながら紙面や掲示板で全体に周知した。</li> <li>・会議中止の連絡が当日になってしまった。今年度の実績を基に年度当初に会議計画を立て、厳選した回数で運用できるようにする。簡易な内容物はメールや文書回覧での処理を試行する。</li> <li>・企画会と運営委員会の位置づけの明確化と職務内容の整理、企画会で月予定の再確認を行ったことで、時間超過が減り、話し合いたい内容が協議できた。スリム化から連携へシフトを変え、他の課との連携・協力の目線で検討したことに手応えを感じた。今後は連携を視点に業務を見直し、質の向上を目指す。</li> </ul>



<富士宮分校>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	【安心・安全】 安心・安全な教育環境の整備	・コロナ感染症対策、学習環境の整備が整い、安全に学習活動が行われている。	・コロナ対策も含め、安全、安心の教育環境が整備できている。環境の見直しが必要な時に、学年分掌等の連携が取れた早い対応ができた。	A	・検温器、パルスオキシメーター等安全対策器具が充実してきた。 ・安全点検等チェック項目が多いと見落とす場合がある。時期により重点を絞る等安全点検方法を工夫したい。
	【安心・安全】 生徒自らが命を守る行動力の育成	・防災防犯学習等が充実し、生徒自ら命を守る力が向上している。	・地域の避難所別にグループを分け、地域の危険箇所等の情報共有ができた。また、避難所で自分たちができることを考えることができた。 ・富士宮北高生とともに避難訓練ができた。	B	・防犯についての訓練が職員、生徒とも効果的に実施できていない。防犯グッズの使用法を含め、訓練内容を工夫したい。
	【安心・安全】 危機管理マニュアルに基づく防災・防犯体制の充実	・緊急時の教職員のとるべき行動が周知され、危機管理体制が整備されている。	・緊急時対応訓練の内容が工夫され、複数の生徒の場合等、万一の対応についての想定幅が広がってきている。	A	・職員一人一人が「私は、何をするのか」の意識がさらに向上するよう、訓練方法等見直ししながら緊急時の対応力を高めたい。
	【豊かな心と身体】 自分や人を大切にし、豊かに生きる心の育成	・道徳教育が充実し、生徒に寄り添う体制が充実した。 ・生徒が主体的に委員会活動に取り組むことにより自治的能力が高まっている。	・各学年で工夫された道徳の授業が実施された。 ・生徒総会、生徒会活動（委員会活動）が積極的に行われた。教員主導ではなく、生徒が考えて取り組む姿が見られるようになってきた。	A	・主体的に行動することは大切なことである。難しいことではあるが、地域で生きるための主体性（5G）を富士宮分校の大切な教育目標として引き続き取り組んでいきたい。
	【豊かな心と身体】 表現する喜びを実感し豊かな情操を育む学びの推進	・表現することの喜びを高める活動が充実した。	・校外の作品展14回 ・生徒の可能性が引き出された美術作品が多く描かれ、富士宮分校ならではの発信につながった。	A	・美術作品はもちろんのこと音楽表現等生徒の情操を育む教育活動を積極的に実施していきたい。

	【豊かな心と身体】 健全な心身を育む活動の充実	・健康でたくましい心身を育む活動が充実している。	・継続的に「朝トレーニング」(25分)を実施した。自分のペースで走ることを行った。持久力が増している。	B	・高等部段階での体力を維持増強させるための活動を工夫して行いたい。
イ	主体的・対話的で深い学びを追求した授業	・研修テーマ追求のための授業研究が充実し、授業力の向上がみられた。	・授業研究実施3回 ・一人一授業 23回 ・外部講師からの指導、助言 4人 5回 ・研修は、すぐに授業に生かせる学びがあり、授業づくりに大いに役立った。	A	・主体的・対話的で深い学びは、その生徒の特性を大切にしたい。 ・「言葉」に着目した指導を引き続き実践していく。
	個に応じて工夫を凝らした授業	・カリキュラム・マネジメントの推進の意識が高まり個別の指導計画を活用した授業改善を行った。	・ICTを活用した授業が広がっている。録画した自分の行動を客観的に評価する等工夫が広がっている。 ・教科と教科を効果的につなげながら生徒個々の目標に迫ろうとしている。	B	・カリキュラム・マネジメントと年間指導計画が一体化して計画するように研修を通して学んでいきたい。
	キャリア発達を促す教育の充実	・キャリアパスポートが活用され、3年間のつながりのあるキャリア教育が充実している。	・スクールロイヤー、消費者講座講師等、外部の人を招いての学習は卒業後の生活に役立つ有意義なものであった。 ・「キャリアパスポート」「夢に向かってシート」など作成するシートのつながりが曖昧なため、3年間の指導の積み重ねが十分でない。	B	・3年間を通して様々な体験をさせ、進路選択についての自己理解を育成したい。 ・職場実習、地域作業、自主生産作業等働くための学習は成果が出ている。しかし、教員が、なぜこの学習が必要なのか、学習の意味を理解して取り組めるように教員の学びが必要である。
ウ	近隣高校との共生・共育及び地域資源を活用した授業の充実	・交流及び共同学習を通して生徒の経験が広がり、お互いの良さに気づくことができた。 ・地域で学ぶ機会が充実し、生徒の知識の広がりや豊かな心が育まれた。	・高校(富士宮北、富岳館)、幼稚園(北幼稚園)との交流活動は生徒にとって意義があった。また、間接交流ではあるが、富士宮東高の福祉フェアに美術作品、作業製品を展示した。	B	・交流の幅は広がりつつある。相手校にも理解を求め、お互いが向上できる有意義な交流となるよう取り組んでいきたい。

	特別支援教育のセンター的機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育に関する小中高等学校への支援が充実している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校2校と支援が必要な生徒についての連携ができた。</li> <li>小中学校との連携は十分にできなかった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学選考に係る相談だけではない、センター的な役割を果たせるようなつながりにも着目して取り組んでいきたい。</li> </ul>
	家庭・地域・関係機関との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒を中心とした保護者、関係機関との連携ができた。</li> <li>生徒が地域で学び育つ様子を分かりやすく発信した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページに生徒発信のコーナーができた。iPad等を使いながら積極的に取り組む姿が見られた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士宮分校の正しい理解がされるように工夫した発信をしたい。</li> </ul>
エ	チームとして学校運営、改善に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の専門的知識が広がった。</li> <li>業務のスリム化を目指した業務内容の見直しが行われた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間外勤務が大幅に増加している職員はいないが、時期により偏りはみられる。</li> <li>ワードやエクセルの利用について効果的なテクニックについてのミニ学習会やデータ保存の整理の仕方等、ちょっとした利用の工夫についての研修が効果的であった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコンを利用する際のテクニックが効率化につながることを実感できている。忙しい中でも、丁寧に利用するように、担当や管理職から伝えていく必要がある。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>分校の課題の洗い出しと改善を意識したチーム体制ができた。</li> <li>教育環境が改善され学校の教育力が向上した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>和やかな教師間のつながりはみられる。</li> <li>道具類の保管が整理されており、使用しやすくなっている。</li> <li>教育課題については、学年部会、企画会等で共有され迅速な対応ができている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員を頼るだけでなく、自らも物の管理、環境整備を意識した行動をとれるように定期的に管理職から呼びかけをしていく。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>人権や命を守る教育公務員としての倫理観が高まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月の研修で作成したキーワードを職員室に掲示したことで、行動すべきことが確認しやすかった。</li> <li>生徒指導課を中心に人権についての伝達が定期的に行われ効果的であった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権などチェック項目が多いとマンネリ化する。目的を持ってチェック項目を工夫し、意識を高めていくことが必要である。</li> </ul>

(2) 5年度の取組目標・達成方法・成果目標（重点目標はゴシック体で記載）

<本校>

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 守 る	安心・安全な教育環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の人権を大切に した支援や指導</li> <li>・人権研修の計画的実施</li> </ul>	・児童生徒が安心して授業に参加することができる。	各部学年 生徒指導課
		・感染症予防の取組	・感染症を広げない衛生的な環境を保っている。	保健安全課
		日常的な対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健管理ファイルの内容の周知と充実</li> <li>・医療的ケアを含むヒヤリハットの共有</li> </ul>	・教員間、看護師、医療機関との連携による医療的ケアが安全に実施されている。	保健安全課 医ケア課
		・安全点検による危険箇所の改善	・学習環境の整備と日々の安全点検により事故防止に努めている。	庶務課 事務部
		・情報セキュリティの確実な実施	・情報セキュリティマニュアルに沿った運用をしている。	情報教育課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら判断し行動する避難訓練</li> <li>・福祉避難所の運営マニュアルの作成と周知（県研究指定）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が自分の命を守るための行動をとることができる。</li> <li>・発災時に取るべき行動を教職員が具体的に想定している。</li> </ul>	各学部 防災課 医ケア課 防災危機管理委員会	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時体制訓練の実施（体調変化行方不明、不審者侵入、事故）</li> <li>・救急法講習会の実施</li> </ul>	・緊急時に教職員のとるべき行動が周知徹底されている。	各学部 事務部 保健安全課 生徒指導課 医ケア課	
イ 育 む	豊かな心と健康な体をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携した健康づくり教室の実施</li> <li>・食に関する指導の全体計画の活用</li> </ul>	・児童生徒が食に対する関心を持ち、知識を身に付けている。	保健安全課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活年齢や発達段階に応じた保健体育指導の実施</li> <li>・性教育に関する指導の充実</li> </ul>	・児童生徒が自らの心身の健康を意識し、健康増進に向けた取組を行っている。	保健安全課 体育課
	主体的、対話的で深い学びを実現する授業をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な授業研究</li> <li>・テーマ研究や年次別研修を活用した授業力向上研修</li> </ul>	・研究テーマ「「もっと学びたい」授業づくり～主体的・対話的・不快学びの充実を通して～」に迫る授業研究の充実が図られている。	各学部 研修課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT(タブレット端末等)の効果的な活用</li> <li>・活用しやすい情報機器の管理</li> </ul>	・授業において、友だちや教師とのやりとりや自らの考えを深めることに活用している。	情報教育課 各学部

	キャリア 発達を促 す指導の 充実を図 る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「12年間のつながり一覧」による学部間の接続を意識した指導</li> <li>・「学びの履歴」を活用し系統性を意識した年間指導計画の検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他学部を意識した系統性と「この時期にこれが大事」を重視した授業実践を行っている。</li> </ul>	各学部 教務課	
	児童生徒 の実態を 踏まえた 授業の充 実を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動の目標設定とあらわれの見取りに関する研修</li> <li>・外部専門家を活用した自立活動学習会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態把握に基づいた自立活動の指導（「時間の指導」を含む）の充実が図られている。</li> </ul>	自立活動課 各学部	
	表現活動 の充実を 図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動に関する活動の設定</li> <li>・校内音楽発表、校内作品展示の実施や外部コンクールへの出展</li> <li>・音楽・美術の授業実践例の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の喜びを高める美術・音楽の指導の充実が図られている。</li> </ul>	各学部 文化芸術課	
	基礎基本 の学び合 いを深め る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び合いのOJTの実践と成果の共有</li> <li>・全校学年主任連絡会の開催（年6回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の指導力が向上してきていると実感できている。</li> </ul>	各学部学年 各分掌	
ウ つ な ぐ	特別支援 教育のセ ンターの 機能を発 揮する	校内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携課と協力し、外部機関と連携したケース会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の安心・安全な生活につながる支援を行っている。</li> </ul>	各学部 地域連携課
		校外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外からのニーズに対応する校内組織の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談、研修支援、関係会議への組織的な参画を行っている。</li> </ul>	地域連携課
	家庭・地 域・関係 機関と協 働する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標の共通理解と家庭での取組をサポートする個別面談</li> <li>・進路や実習についての情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導計画、個別の教育支援計画の活用を通して、保護者や関係機関との連携協力が図られている。</li> </ul>	各学部 教務課 キャリア支援課	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会との協働</li> <li>・交流及び共同学習の計画的な運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の資源や人材を活用した学習活動が展開されている。</li> </ul>	各学部 地域連携課	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域の方に伝わる情報発信</li> <li>・校外作品展、校外作業製品販売等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信が児童生徒の学習意欲につながっている。</li> <li>・家庭・地域への分かりやすい情報発信に努めている。</li> </ul>	教務課 文化芸術課 キャリア支援課 地域連携課 情報教育課 各学部	
	チームで 業務改善 に取り組 む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標、計画、準備等の情報共有と協働</li> <li>・働きやすい職場環境づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が目標を持って協働しながら業務に取り組み、やりがいを感じている。</li> </ul>	管理職 各学部 職員安全衛生 委員会	

<富士宮分校>

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 守 る	安心・安全な教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症予防対策の充実</li> <li>・安全点検実施による環境整備</li> <li>・ヒヤリ・ハットの共通理解と危険予知トレーニング、環境整備の見直し</li> <li>・情報セキュリティの適切な実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症予防対策、学習環境の整備が整い、安全に学習活動が行われている。</li> </ul>	教務課 保健体育課 安全推進課
	生徒自らが命を守る行動力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的避難訓練の実施(年5回)</li> <li>・防災教育授業の実施</li> <li>・防犯講座の実施(年1回)</li> <li>・AED体験や自転車も含めた交通安全の行動等、自他の命を大切にする学習の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災防犯学習等が充実し、生徒自ら命を守る力が向上している。</li> <li>・緊急時に自分ができることが分かり、安全意識が高まっている。</li> </ul>	安全推進課 生徒指導課 保健体育課
	危機管理マニュアルに基づく防災・防犯体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行方不明、不審者進入、事故の緊急時体制の図式化、情報共有</li> <li>・効果的な緊急時体制訓練の実施</li> <li>・危機管理マニュアルの見直しと災害時の学校再開に向けた体制づくりの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の教職員のとるべき行動が周知され、危機管理体制が整備されている。</li> </ul>	保健体育課 安全推進課
イ 育 む	自分や人を大切にし、豊かに生きる心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳計画に基づく「特別の教科 道徳」の授業の充実と生徒の豊かな心の育成</li> <li>・学校生活アンケート等による生徒の情報共有と、気持ちに寄り添う体制づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に寄り添う体制が整い、道徳教育が充実するとともに生徒の自律ある行動が増えている。</li> </ul>	生徒指導課 学年部 生徒会・委員会
	表現する喜びを実感し豊かな情操を育む学びの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「音楽」「美術」の授業の充実</li> <li>・校外の芸術発表、各コンクールへの応募による分校生徒の可能性の発信</li> <li>・図書環境の見直しと読書活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現する喜びが高まり、生徒が意欲的に活動に取り組んでいる。</li> <li>・朝読書以外にも本に親しむ姿がみられる。</li> </ul>	文化芸術課 学年部
	健全な心身を育む活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に継続して行うトレーニングの実践の充実</li> <li>・日常生活の指導と保健授業の充実</li> <li>・有意義な休み時間の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康でたくましい心身を育む活動が充実している。</li> </ul>	保健体育課 学年部
	主体的・対話的で深い学びを追求し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一授業の実施と3回以上の授業参観と研修会の充実</li> <li>・個のねらいに応じたグループ化とチームティーチングの効果的な支援</li> <li>・主体的な活動を引き出す単元設定の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修テーマ追求のための授業研究が充実し、授業力の向上がみられた。</li> <li>・生徒が主体的に学習問題に取り組む姿がみられ</li> </ul>	研修課

	た 授 業 の 進 展	工夫	た。	
	実 態 に 応 じ た 年 間 指 導 計 画 に 基 づ く 工 夫 を 凝 ら し た 授 業 の 充 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立活動の目標における中心課題の設定</li> <li>・ ICTを効果的に活用した授業実践</li> <li>・ 年間指導計画に基づく定期的な個別の指導計画の評価や目標設定の見直し (カリキュラム・マネジメントの視点)</li> <li>・ SDG s を意識した教科横断的な単元計画と授業の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カリキュラム・マネジメントの意識が高まり、個別の指導計画を活用した授業改善を行った。</li> <li>・ SDG s の取組が広がり、生徒の関心が高まった。</li> </ul>	教務課 (自立活動) 研修課
	キャリア 発達を 促す教 育の充 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒が自分の歩みを創るキャリアパスポートの作成</li> <li>・ 他の教科との関連を重視し、3年間の計画的な進路指導の充実</li> <li>・ 生徒が主体的に取り組む生徒会活動等の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャリアパスポートが活用され、3年間の見通しと積み上げのあるキャリア教育が充実している。</li> <li>・ 生徒が主体的に生徒会活動等に取り組むことで自治的能力が高まっている。</li> </ul>	進路指導課 教務課 生徒指導課
	チ ャーム力 が 高 ま る 働 き が い の あ る 職 場 の 構 築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学び合い高め合うOJTグループ等の活用</li> <li>・ 会議の内容精選とタイムマネジメントの浸透</li> <li>・ ICTの活用及び環境整備による業務の効率化の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援教育の専門的知識が広がり、学び合う関係が築かれた。</li> <li>・ 職場環境と業務内容が見直され、働く環境が整えられている。</li> </ul>	学部 学年部 研修課 教務課 安全推進課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校安全、管理に関する意識向上</li> <li>・ 相互理解を深める人権研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権や命を守る教育公務員としての倫理観が高まった。</li> </ul>	学部 学年部 生徒指導課
ウ つ な げ る	近 隣 高 校 と の 共 生 ・ 共 育 及 び 地 域 資 源 を 活 用 し た 授 業 の 充 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富士宮北高等学校との交流及び共同学習の充実</li> <li>・ 幼稚園や施設等との交流活動による生徒の心の育成</li> <li>・ 地域の人材や資源を活用した授業の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流及び共同学習を通して生徒の経験が広がり、お互いの良さに気づくことができた。</li> <li>・ 地域で学ぶ機会が充実し、生徒の知識の広がりや豊かな心が育まれた。</li> </ul>	学部 学年部
	特 別 支 援 教 育 の センタ ー 的 機 能 の 推 進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中高等学校の特別支援教育のニーズに応じた丁寧な対応の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援教育に関する小中高等学校への支援が充実している。</li> </ul>	特支コー ディネーター
	家 庭 ・ 地 域 ・ 関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケースに応じた効果的な面談の実施</li> <li>・ 教育活動の目的や生徒の思いが伝わ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒を中心にした保護者、関係機関との連携が</li> </ul>	学年部 進路指導課

係機関との連携の推進	るホームページの作成 ・生徒の可能性が伝わる展示や企業等外部の方の来校機会の効果的な設定 ・学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の意見を反映した学校づくりの推進	できた。 ・生徒が校内及び地域で学び育つ様子を分かりやすく発信した。	安全推進課(情報) 文化芸術課
------------	--	---------------------------------------	--------------------

<富士東分校>

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア 守 る	<b>安心・安全な教育環境の整備</b>	・情報セキュリティの周知・徹底 ・複数の視点での安全点検実施 ・危険予知トレーニングの実施とヒヤリ・ハットの共通理解	・学習環境が整い、安全に学習活動が行われている。	教務課 生徒指導課 保健体育課 学年
	生徒自らが命を守る行動力の育成	・防災教育授業の実施 ・登下校中の安全教育の実施 ・富士東高校と共に実践的な避難訓練の実施 ・防犯講座、交通安全教室等の計画的な実施	・緊急時に自分がとるべき対応が分かり命を守る行動ができています。	生徒指導課 保健体育課 学年
	危機管理マニュアルに基づく防災・防犯体制の充実	・富士東高校と連携した富士山火山避難基本計画を踏まえた危機管理マニュアルの作成 ・効果的な緊急事態訓練の実施(行方不明、不審者侵入、事故等)	・緊急時に教職員がとるべき対応を理解し行動できている。	学部 生徒指導課
イ 育 む	自分や人を大切に、豊かに生きる心の育成	・道徳教育全体計画、いじめ防止基本方針、人権教育全体計画による生徒の豊かな心の育成 ・生徒が主体的に取り組む生徒会活動の充実 ・学校生活アンケートに基づく生徒の気持ちに寄り添う体制づくり	・生徒が他者を思いやる行動がとれている。 ・生徒が主体的に生徒会活動等に取り組み、自治的能力が高まっている。	生徒指導課 研修課 学年
	表現する喜びを実感し豊かな情操を育む学びの推進	・校内外の芸術発表、各種コンクールへの応募による分校生徒の活躍の発信 ・読書活動の充実	・音楽や美術等の表現する喜びが高まり、生徒が進んで活動に取り組んでいる。	学年 教務課
	健全な心身を育む活動の充実	・心身の健康や性の指導について年間指導計画を基に系統的・段階的な指導を行う。 ・体力の向上と生涯学習につながる体育活動の充実	・生徒が自らの心身の健康に関心をもち、知識・技能を身に付けるとともに主体的に活動に取り組んでいる。	保健体育課 学年
	学習指導要領に基づく系統的な年間	・PDCAサイクルに基づく、カリキュラム・マネジメントの実施	・学習指導要領の各教科等の内容が授業で適切に扱われ、学習評価に基づく授業が実施されている。	学部 学年 研修課



	指導計画の作成と実施			
	<b>キャリア発達を促す教育の充実</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が自身の成長を実感できるキャリアパスポートの作成</li> <li>3年間を見通した計画的な進路指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が「主体者」としてキャリアパスポートの作成・活用に参画し、自身の成長を実感している。</li> </ul>	進路連携課
	チームで学校運営に取り組み、働きがいを感じる職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士東分校にかかわる誰もが幸せを感じる学校風土づくり</li> <li>学び合いのOJTグループを活用した専門性向上研修の実施</li> <li>ICTを活用した職場環境、学習環境の整備</li> <li>会議の内容精選とタイムマネジメント</li> <li>毎週金曜日の定時退勤の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員が目標をもって協働しながら業務に取り組み、やりがいを感じている。</li> <li>教育公務員としての倫理観が高まっている。(不祥事ゼロ)</li> </ul>	学部 研修課 教務課
ウ つ な げ る	<b>高校との共生・共育及び地域資源を活用した授業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士東高校との日常的な交流及び共同学習の実施</li> <li>幼稚園や小・中学校、施設との交流活動による生徒の心の育成</li> <li>地域の人材や資源の活用、富士特支3校(本校・富士宮分校・富士東分校)での相互支援を生かした授業の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な交流及び共同学習を通してお互いの良さに気付き活動が実施されている。</li> <li>地域で学ぶ機会が充実し、生徒の知識や経験が広がっている。</li> </ul>	学部 学年
	特別支援教育のセンター的機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育のニーズに応じた迅速かつ丁寧な対応の推進</li> <li>ホームページを活用した情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育に関する小中高等学校への支援が充実している。</li> </ul>	進路連携課
	家庭・地域・関係機関との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒を中心に据えた、計画的、効果的な面談の実施</li> <li>ホームページや学年便り等による時機を逃さない情報発信</li> <li>学校運営協議会との協働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が校内及び地域で学び育つ様子や学習の意図を分かりやすく発信している。</li> </ul>	学部 学年 進路連携課

#### 4 監査対象期間における特色ある取組

<本校>

【4年度】

取組概要	成果及び課題
安心・安全な教育環境をつくる <ul style="list-style-type: none"> <li>地域との交流</li> <li>学校間交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍での学校間交流の在り方を、交流校と共に考え、対面交流にとどまらず、作品交流、ビデオレター、オンライン交流等取り入れている。今後も、状況に応じた交流が実施できるようにしたい。</li> <li>交流籍を活用した交流および共同学習は、打合せを実施し計画を作成することができたが、感染症の拡大により実施できていない。</li> </ul>
主体的、対話的で深い学びを実現する授業の	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業研究3年目のまとめにあたり、静岡大</li> </ul>

<p>展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究会の実施</li> <li>・12年間つながりプロジェクトによる年間指導計画の見直し</li> </ul>	<p>学大学院教育学研究科小岱和代特任教授から助言、講演を受けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年主任連絡会を設置し、学年主任相互の学び合いを通して、業務の改善、学校組織の活性化、若手教員の育成を目指す。</li> <li>・12年間つながりプロジェクトにより、目指す児童生徒像の視点の統一化をはかると共に、12年間のつながりがある年間学習計画の作成を目指す。</li> </ul>
<p>外部の専門家を招いて各種講座等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の読み聞かせボランティア</li> <li>・地域の人材活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部の地域のバス会社によるバスの乗り方教室、中学部の技チャレンジ、高等部農耕班によるJAや農家の指導を受けて育てた地元ブランドのとうもろこしを育て給食で提供、など、地域の人材を活用した学習が展開されている。</li> </ul>
<p>基礎・基本の学び合いを深める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士特OJTによる技の伝え合い</li> <li>・スクールカウンセラーの活用</li> <li>・ケース会議の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肢体不自由教育の専門性向上に向け、病院の作業療法士、指導医等の専門家による研修会や事例検討を実施した。</li> <li>・自立活動の区分を見据え、児童生徒の課題設定を検討したり、生徒理解に努めたり、今後の支援を考える為に、年間通じて静岡大学教育学部香野毅教授を招聘し、研修、ケース検討、講演を行っている。</li> <li>・保護者対応や児童生徒本人支援のために、スクールカウンセラーとの面談を有効に活用している。</li> </ul>

【5年度】

取組概要	成果及び課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な人材を活用した学習支援 職能を有する専門家との協働授業、通常の授業では取り扱いの少ない学習経験をすることで、児童生徒の潜在能力の見出しや伸長、体を動かすことを楽しむ心を育む。</li> <li>・「こどもと文化が会う機会創出事業」活用</li> <li>・WAZAチャレンジの活用</li> </ul>	<p>4/25、5/22 車いすダンス 高A課程 6/13 キッズダンス 小B課程5、6年 6/29 3B体操 小B課程3、4年 5/22 陶芸指導 高B課程陶芸班 5/30 ヨガ・体の動かし方指導 高B課程3年年16回音楽療法 小・中・高A課程 7/18 SPACパフォーマンス鑑賞 中B課程2、3年 6/28 アートモザイク作り 中B課程2年 7/5 フラワーアレンジメント 中B課程1年 7/11 紙のほうじ茶染め 中高A課程</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動の時間の指導の充実</li> </ul>	<p>言語聴覚士、作業療法士による指導、授業支援</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域商業施設での児童生徒絵画作品の展示</li> <li>・地域施設における製品の展示</li> <li>・近隣高等学校文化祭での製品販売会</li> </ul>	<p>7/20～8/20 スターバックスイオンタウン富士宮店 8/8～9/18 富士山エコトピア (高等部) 6/30 富士東高校文化祭</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な地域生活に向けた段階的な講座受講</li> </ul>	<p>6/8 一日防災学習 東部地域局危機管理課出前</p>

	講座 高B課程2年 (高等部) 携帯のマナー講座、選挙出前講座、消費者教育、薬学講座
・静岡県立特別支援学校における研究指定事業 (2年継続事業の2年目) テーマ 「特別支援学校による福祉避難所の運営」	8/1 富士市危機管理課との協同による風水害を想定した福祉避難所解説訓練実施

<富士宮分校>

【4年度】

取組概要	成果及び課題
<p>地域や近隣学校との共生・共育の充実を図るための活動(富士宮北高校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育祭の参加</li> <li>・ 富士宮北高1年生への分校紹介ガイダンス</li> <li>・ 生徒会、部活動交流</li> <li>・ 道路環境美化活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月富士宮北高校の北嶺祭体育の部に参加した。徒競走、集団種目、リレーなどこれまで以上の種目に生徒が参加し同じ場で競い合うことができた。また、昨年同様分校の集団演技を全校生徒の前で披露することができ、生徒の頑張る姿を伝えることができた。</li> <li>・ 1年生に対して、分校の紹介を分校職員が行った。そこでのアンケートの中で、分校生徒のイメージが変わったこと、体育の部での集団演技への驚きや感動したことなど、今後の共生共育の推進につながる感想を得ることができた。</li> <li>・ 生徒会の顔合わせ、パソコン部の交流など、コロナ対策をする中で効果的な交流が行われている。</li> <li>・ 分校西側の道路の植栽柵に富士宮北高校の環境美化委員と分校生徒会執行部で、花の植え替えを行った。</li> </ul>
<p>外部の専門家を招いて各種講座等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災学習</li> <li>・ 交通安全教室</li> <li>・ 防犯講座</li> <li>・ 薬学講座</li> <li>・ スクールカウンセラーの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県東部地域局危機管理課の方からの防災学習は、①南海トラフ地震の基本的な押さえと②学年ごと異なる内容で実施した。1年は防災クイズ、2年は災害時判断ゲーム、3年はタブレットを使ったクイズ形式と興味関心を高めながら学ぶことができた。</li> <li>・ 防犯講座は、スマホのトラブルについて分かりやすく伝えられた。スマホの利用が大多数のため生徒は真剣に学ぶ様子が伺われた。その場では理解できても、実際の場で生かされないこともあり、学校でも継続して指導していきたい。</li> <li>・ スクールカウンセラーは、引き続きの担当で、生徒の様子も熟知し、また生徒にとっても安心できる存在であるため、効果的なカウンセリングができている。</li> </ul>

【5年度】

取組概要	成果及び課題
<p>地域や近隣学校との共生・共育の充実を図るための活動（富士宮北高校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育祭の参加</li> <li>・ 「共生・共育ガイダンス」（富士宮北高1年生への分校紹介ガイダンス）</li> <li>・ 生徒会、部活動交流</li> <li>・ 道路環境美化活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月富士宮北高校の北嶺祭「体育の部」に参加した。それぞれの種目の代表が徒競走を始めとするすべての種目に参加し、同じ場で競い合うことができた。また、分校の集団演技を宮北全校生徒の前で披露することができ感動を伝えることができた。</li> <li>・ 富士宮北高1年生（200人）を対象に分校生徒会執行部と分校職員で分校紹介を含めた「共生・共育ガイダンス」を行った。事前にアンケート調査も実施。分校の学習や行事のことが知り得る機会となった。また、互いに知り合うことから始め、生徒からどんな交流ができるかなどの考えも聞くことができ、共生共育の推進の一步を踏み出すことができた。</li> <li>・ 部活動（パソコン部）交流では、タイピングや検定に向けた取組が自然な形で進めることができた。また生徒会交流では、「ゼロ運動」として朝の「あいさつ運動」も実施した。</li> <li>・ 分校西側沿道の花壇「植えます」に富士宮北高の庭園・美化委員と分校環境美化委員で花の植え替えを行った。</li> </ul>
<p>外部の専門家を招いて各種講座等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災学習</li> <li>・ 交通安全教室</li> <li>・ 防犯講座</li> <li>・ ヨガ講座</li> <li>・ 薬学講座</li> <li>・ 性教育指導</li> <li>・ スクールカウンセラーの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月の防災学習では県東部地域局危機管理課主査より南海トラフ地震の基礎知識と各学年に応じた防災クイズ、災害時判断ゲームなどを実施した。防災意識や関心を高めながら学ぶことができた。</li> <li>・ 防犯講座では、富士宮警察署生活安全課のスクールサポーターからスマホのトラブルや今後起こり得るトラブルを想定しながらその解決に向けた内容で、生徒たちは真剣に学ぶ様子が伺えた。</li> <li>・ ヨガ講座では、講師の先生から身体ほぐしやストレッチ、呼吸法など体験しながら学ぶことができた。</li> <li>・ スクールカウンセラーは担当者継続で生徒の気持ちに寄り添いながら効果的なカウンセリングができている。また、フィードバックでは、生徒の内面的心情を正確に教えて頂き、日々の教育活動に活かしている。</li> </ul>

<富士東分校>

【5年度】

取組概要	成果及び課題
<p>富士東高校及び地域の特別支援学校との高校生同士がつながり合う共生・共育の充実</p> <p>&lt;富士東高校&gt;</p> <p>理念主導の共生・共育ではなく、高校生同士の言葉で、高校生同士の空気感で交流を色付け、膨らますボトムアップの取組を大切に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常的な交流</li> <li>・ 共生・共育委員会との交流</li> <li>・ 行事交流</li> <li>・ 部活動交流</li> </ul> <p>&lt;富士特別支援学校本校、富士宮分校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各校の特色や強みをいかした授業交流 ～すくらむ SCRUM～ (双方の学校訪問、Zoomでの遠隔授業)</li> <li>・ 行事交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富士東高校の共生・共育委員からの提案で、ランチ交流を3回実施した。リラックスした雰囲気の中で膝を突き合わせて、互いの学校の様子などを語り合う機会となった。その後も親交を深め、富士東高校の教室で昼食を食べている分校生もいる。</li> <li>・ 文化祭では分校生がステージ発表のオープニングを飾った。富士東高生を巻き込む参加型の発表で一気に会場が盛り上がった。ブース発表では、富士東高生の発表を見学するだけでなく、分校生も作業学習の体験コーナーを運営した。その中で、互いに言葉を交わし、一緒に写真を撮る等、高校生らしい青春的一幕をつくることができた。</li> <li>・ 今後は、各行事等に参加するだけでなく、分校の生徒・職員も準備段階から実行委員等の運営に携わり、共に作り上げる共生・共育を目指したい。</li> <li>・ 今年度の在校生は1年生だけというデメリットを補うため、富士宮分校の先輩たちとの授業交流を設定した。(学校訪問1回、遠隔授業2回、その他、学習成果物等を通じた間接交流) 同年代のモデルとなる先輩たちの姿が大きな刺激となり、働く人として身に付けた言葉遣いや態度を学び、その後の学習意欲の高まりにつながっている。</li> </ul>
<p>外部人材や地域資源を活用した地域との協働活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マリンスーパー(土井佑太氏)との海中清掃事業と再生ルアーをツールとした交流の拡大</li> <li>・ 近隣施設等の清掃活動</li> <li>・ 地域の商業施設等での職業体験</li> <li>・ 青葉台地区文化祭への参加・協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月の校内実習から土井氏との協働活動をスタートした。初めに土井氏から海中清掃や再生ルアー事業について講義を受けたことで、自分たちの取組が海中の環境や生物を守る一助になることを理解し、やりがいや責任を感じて主体的に取り組む姿へとつながった。根気を要する細かい作業であるが、「大変だけど今後も継続して取り組みたい」という声が生徒から挙がっている。</li> <li>・ 2学期以降は作業学習の場を校内から地域へと広げ、協働活動をさらに充実させたい。</li> </ul>

5 教職員について

(1) 4年度異動状況

		本務職員										任期付職員・臨時的任用職員 会計年度任用職員										合計		
		校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	事務長	主査	主任	主事	小計	臨時・任期付教諭	臨時養護教諭	会計年度任用職員						小計			
															非常勤嘱託員	医ケア看護職員	(非常勤講師 社会人活用)	非常勤労務職員	カウンセラー	実習支援指導員			就労促進専門員	
本校	転出者		1		23		1		1	1		27	2										2	29
	退職者				8			1				9	20	1	4	6	1	16	1	1	1	1	51	60
	再任用(退職者)				1							1											0	1
	転入者		1		23		1	1		1	1	28	2										2	30
	新任者				6	1						7	16		4	5		14	1	1	1	1	42	49
	再任用(新任者)				3							3											0	3
	差引増減	0	0	0	0	1	0	0	-1	0	1	1	-4	-1	0	-1	-1	-2	0	0	0	0	-9	-8
富士宮分校	転出者				5						5											0	5	
	退職者										0	3					1					4	4	
	再任用(退職者)		1								1											0	1	
	転入者			1	3						4											0	4	
	新任者										0	2					1					3	3	
	再任用(新任者)										0											0	0	
	差引増減	0	-1	1	-2	0	0	0	0	0	0	-2	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-3
富士東分校	転入者				5	1			1		7	1					1					2	9	
	新任者										0											0	0	
	再任用(新任者)		1								1											0	1	
	差引増減	0	1	0	5	1	0	0	1	0	8	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	10	

(2) 現員数 (令和5年4月1日)

		本務職員										任期付職員・臨時的任用職員・会計年度任用職員						合計	
		校長	副校長	教頭	事務長	教諭	養護教諭	栄養教諭	主査	主任・主事	小計	教諭(任期付・臨時)	医ケア看護職員	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	実習支援指導員	スクールカウンセラー		小計
本校	男	1				51				2	54	4		3	2		1	10	64
	女		1	1	1	107	2	1	1		114	20	5	11	1	1		38	152
	計	1	1	1	1	158	2	1	1	2	168	24	5	14	3	1	1	48	216
富士宮分校	男			1		12					13	1						1	14
	女					8	1		1		10	1		1				2	12
	計	0	0	1	0	20	1	0	1	0	23	2	0	1	0	0	0	3	26
富士東分校	男		1			4					5							0	5
	女					1	1		1		3	1		1				2	5
	計	0	1	0	0	5	1	0	1	0	8	1	0	1	0	0	0	2	10

### (3) 健康管理について

<本校・富士宮分校>

#### 【4年度】

- (ア) 健康診断（結核・生活習慣病・婦人科・指定年齢健診・人間ドック・脳ドック）を実施し疾病の早期発見と健康相談等の事後指導により、健康の保持増進に努めた。
- (イ) 職員安全衛生委員会を月1回開催し、保健安全衛生に関する事項を協議した。また、健康管理医による校内巡視を実施し、指導助言を受け、環境改善に努めた。
- (ウ) 職員安全衛生委員会で話題になった内容は、N E S 掲示板を利用して全職員で情報を共有していくとともに職員に対する健康教育として、N E S 掲示板の活用、学部会等での伝達を通して、保健情報の発信を行った。
- (エ) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、教職員に毎朝の検温と記録を依頼し、健康観察の徹底に努めた。また、N E S 掲示板を活用し、感染予防策や健康管理について呼びかけを行った。

<本校・富士宮・富士東分校>

#### 【5年度】

- (ア) 健康診断（結核・生活習慣病・婦人科・指定年齢健診・人間ドック・脳ドック）を実施し、疾病の早期発見と健康相談等の事後指導により、健康の保持増進に努めていく。
- (イ) 職員安全衛生委員会を月1回開催し、保健安全衛生に関する事項を協議していく。また、健康管理医による校内巡視を実施し、指導助言を受け、環境改善に努める。
- (ウ) 職員安全衛生委員会で話題になった内容は、N E S 掲示板を利用して全職員で情報を共有していくとともに職員に対する健康教育として、N E S 掲示板の活用、学部会等での伝達を通して、保健情報の発信を積極的に行う。
- (エ) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、教職員に毎朝の検温と記録を依頼し、健康観察の徹底に努めていく。また、自動消毒器の設置、コロナ感染症ガイドライン等を整え、教職員一人一人の感染症に対する危機意識を高めていくと共に、N E S 掲示板を活用し、感染予防策や健康管理について呼びかけを行っていく。

### (4) 教職員の研修について

<本校>

#### 【4年度】

##### 1 研究の目的

令和2年度より、「考え・伝え・やってみる」児童生徒を育てる授業づくり～「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して～を研究テーマとし、研究を進めている。これまでの研究では、児童生徒の実態や課題を把握し、目指す生徒像に照らし合わせながら3観点に沿って目標、評価基準を設定し、授業実践を行い学習状況の評価、指導の評価を生かして、授業改善につなげるというR P D C Aサイクルに基づいた授業実践を重ねてきた。特に、子どもがどう考えて学習活動に取り組むのか、子どもの実態に即して授業設計診断4項目を活用し、授業改善を行い、考え・伝え・やってみる姿を引き出すための支援を行った。そうしたことで、教師主導の授業ではなく、子どもの思いや考えに沿った授業づくりが定着しつつある。本研究のまとめの年である今年度は、これまで積み重ねてきた「考え・伝え・やってみる」姿とその姿を引き出すための支援について、学部間のつながりや内容の検討を行い、成長や発達に応じた支援の充実を目指していく。本研究を通じて、児童生徒が「他者との関わりの中で自分らしさを発揮し、自分の意志で生活を豊かにしていく力」の習得を目指したい。

## 2 研究の内容と方法

- (1) 「考え・伝え・やってみる」姿の実現に向けた授業実践、授業研究を行う。
- ・昨年度までにまとめた「考え・伝え・やってみる姿」とその姿を引き出す支援（授業設計診断4項目の視点）について、12年間のつながりという視点で内容を見直し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた有効な支援の在り方を明らかにする。
  - ・目標、内容、方法、評価を、育成を目指す資質・能力の三つの柱と、授業設計診断4項目の視点で整理し、RPDCAサイクルの充実につなげる。
- (2) OJT、グループ研修、学習会を活用し、的確な実態把握とそれに基づいた適切な支援についての理解を深め、授業実践につなげる。
- ・ラーニングマップや、学習到達度チェックリストを活用し実態把握を行い、学習指導要領の段階に応じた学びを見直す。
  - ・障害特性に留意しながら、「発達の視点からみた実践指標」（12年間つながりプロジェクトより）を活用し、一人ひとりに合った学び方や有効な支援の在り方を考える。
- (3) 校内における学習会
- ・教員の資質向上を図るため、外部講師を招聘し、以下の学習会を実施する。
- 校内授業研究会及び学習会

実施日	演題・学習会内容	講師
6. 2	授業研究会（小A課程）	東部特別支援学校 松本 高治 教諭
6. 22	授業研究会（高A課程）	吉田特別支援学校 徳永 光真 教諭
6. 27	授業研究会（訪問教育）	北原 百代 氏
6. 28	授業研究会（中学部）	沼津特別支援学校 田代 美紀 教諭
7. 4	授業研究会（小B課程）	清水特別支援学校 廣 国睦 教諭
7. 6	授業研究会（高B課程）	御殿場特別支援学校 長田 三千絵 教諭
8. 1	研修課研修会（推進委員）	静岡大学大学院教育学研究科 小岱和代 特任教授
8. 9	研修課研修会（全体研）	静岡大学大学院教育学研究科 小岱和代 特任教授
10. 7	学校定期訪問 中心授業（小B課程、高B課程）	静岡県総合教育センター 松本知栄子 班長 青山和幸 教育主査
10. 31	授業研究会（高B課程）	御殿場特別支援学校 長田 三千絵 教諭
11. 4	授業研究会（中学部）	沼津特別支援学校 田代 美紀 教諭
11. 15	授業研究会（小A課程）	東部特別支援学校 松本 高治 教諭
	授業研究会（高A課程）	吉田特別支援学校 徳永 光真 教諭
	授業研究会（訪問）	中央特別支援学校 北原 百代 教諭
12. 5	授業研究会（小B課程）	清水特別支援学校 廣 国睦 教諭

特別支援教育への取組の一環として、校内外の関係者を対象にした研修会

実施日	演題・学習会内容	講師
6. 23	はごろも「夢」講演会 みんなのいのちをつなぐ福祉避難所を作ろう！ ～みんなで助かる！福祉×防災×コミュニティ～	福祉防災コミュニティ協会 湯井 恵美子氏
7. 29	はごろも「夢」講演会 障害のある子どもの発達段階に応じた性行動への介入 ～周囲に心配をかける性行動への介入法を中心に～	特別支援教育ネット代表 小栗 正幸 氏



【5年度】

教員の資質向上を図るため、外部講師を招聘し、以下の学習会を実施する。

実施日	演題・学習会内容	講師
6. 21	研修課研修会	静岡大学 教授 香野 毅
6. 26	授業研究会（中B課程）	伊豆の国特別支援学校 水野 靖弘 教諭
7. 3	授業研究会（小B課程）	清水特別支援学校 廣 国睦 教諭
7. 5	授業研究会（小A課程・訪問）	赤尾ひとみ（元静岡北特支南の岡分校副校長）
7. 5	授業研究会（高B課程）	元御殿場特別支援学校 長田 三千絵 教諭
7. 12	授業研究会（中A高A課程）	吉田特別支援学校 徳永 光真 教諭

特別支援教育への取組の一環として、校内外の関係者を対象にした研修会

実施日	演題・学習会内容	講師
8. 28	スクールロイヤー講話 児童生徒・保護者対応について	柿崎法律事務所 柿崎 博昭

<富士宮分校>

【4年度】

1 研究の目的

研究テーマを「教科学習と作業学習をつなぐカリキュラム・マネジメントの実践 ～育んだ思考を發揮する作業学習～」とし、各教科等を合わせた指導の場である作業学習の中で、教科学習において育んだ資質・能力を効果的に發揮できるように、有効な支援のつながりについて研究していく。生徒の実態に基づいた「育成を目指す資質・能力」を明確にし、各教科等の学習内容を相互関係で捉えて授業づくりや評価の方法につなげ、目指す姿に迫っていく。また、教科等横断的な視点で年間指導計画の内容や配列を改善し、実態に応じたカリキュラムの編成を行うようにする。

2 研究の内容と方法

- ・各教科等の授業実践により育まれた資質・能力（思考）や有効な支援の情報共有と活用
- ・各教科等のねらい、評価の観点を明確にし、目指す姿につながる思考を育む授業の実践と授業改善
- ・教科等横断的な視点で生徒の身に付けた資質・能力の評価と整理
- ・学年研修、作業部会、作業班長会、教科部会などを有効に活用する。

3 校内における学習会

- ・教員の資質向上を図るため、外部講師を招いて研究会を実施する。

校内授業研究会及び学習会

実施日	演題、学習会内容	講師等
6. 7	校内授業研究会（教科学習、作業学習）	静岡大学 准教授 山元 薫
9. 28	学校定期訪問 中心授業（2年国語科）	静岡県総合教育センター 特任教官 山田 浩昭
11. 30	校内授業研究会 中心授業（3年作業学習）	静岡大学 准教授 山元 薫

資質向上研修

実施日	演題・学習会内容	講師
8. 2	「軽度知的障害のある生徒の問題行動、その背景と指導・支援について～生徒指導の観点から～」	立命館大学 教授 伊田勝憲

8.30	豊かな人生のためにできること ～将来と今について～	ジブラルタ生命保険株式会社 マーケティングディレクター
12.16	本人・保護者の思いを反映した個別の教育支援計画、指導計画の作成について	静岡大学 教授 香野 毅

## 【5年度】

### 1 研究の目的

研究テーマを「教科学習と作業学習をつなぐカリキュラム・マネジメントの実践 ～育んだ思考を発揮する作業学習～」とし、各教科等を合わせた指導の場である作業学習の中で、教科学習において育んだ資質・能力を効果的に発揮できるように、有効な支援のつながりについて研究していく。生徒の実態に基づいた「育成を目指す資質・能力」を明確にし、各教科等の学習内容を相互関係で捉えて授業づくりや評価の方法につなげ、目指す姿に迫っていく。また、教科等横断的な視点で年間指導計画の内容や配列を改善し、実態に応じたカリキュラムの編成を行うようにする。

### 2 研究の内容と方法

- ・思考を育む授業づくりを継続的に実践する。
- ・学習指導要領に沿った年間指導計画の見直しと作成を行う。
- ・学習計画を用いて、教科学習が作業学習の中で活かされる姿、支援を想定し、学年部と作業班での共通理解を図り、授業実践につなげる。また、学年研修、作業部会、作業班長会、教科部会などを有効に活用する。

### 3 校内における学習会

教員の資質向上を図るため、外部講師を招いて研究会を実施する。

校内授業研究会及び学習会

実施日	演題、学習会内容	講師等
5.31	校内授業研究会 (教科学習、作業学習)	静岡大学 准教授 山元 薫
10. 2	学校定期訪問 中心授業(作業学習園芸班)	静岡県総合教育センター 班長 織部 恵理子
11.29	校内授業研究会 中心授業(作業学習)	静岡大学 准教授 山元 薫

資質向上研修

実施日	演題・学習会内容	講師等
7.31	「主体性を育む自立活動の指導」	静岡大学 講師 村上 広美
8. 2	I C T機器学習会 chromeBookの使用方法	
8.29	被災地オンライン研修	いのちをつなぐ未来館 担当者
8.29	救命救急講習 心肺蘇生法	西富士宮消防署
調整中	スクールロイヤー活用事業 いじめ予防に関する教職員研修	県弁護士会

<富士東分校>

## 【5年度】

### 1 研究テーマ

「確かな学びを実感し、『学びに向かう力』を高める授業づくり」  
～学習指導要領に基づく学習評価の充実～

### 2 研究の目的

現行の学習指導要領では、資質・能力の育成を目指し、各教科の目標や内容が資質・能力

の三つの柱「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」に整理され、学習評価の視点を取り入れたカリキュラム・マネジメントを充実させることが示されている。

本校では開校準備の段階で、学習指導要領に示された各教科の内容を年間指導計画に明記し、高等部の3年間で系統的かつ教科横断的な配列となる教育課程を検討した。

今後は、学校体制としてカリキュラム・マネジメントのPDCAサイクルを確立するために、年間指導計画に示す授業を実施しながら、評価・改善に不断に取り組む。そのためには、まず教員が学習指導要領に示された内容を理解して、「学習評価」の視点をもって授業を実践する必要がある。学習評価の充実は、生徒自身が「何を、どのように学び、何が身に付いたのか」という確かな学びを実感し、自分の力を発揮しながら、自ら学びを進めようとする資質・能力の高まりにつながると思う。

### 3 研究の内容と方法（3年計画の1年目）

今年度は学習指導要領に示された理論的な内容について理解を深めるために、教員間の対話をとおした学習会をメインに研究を進める。「学習評価」に視点を当てて学習指導要領を構造的に理解し、そこで得た学びを授業へと接続させることで、研究成果を実践へと反映させていく。

校内授業研究会及び学習会

実施日	演題・学習会内容	講師
5.12	「学習指導要領の構造的な理解」	富士東分校 岩附敦史 部主事
6.9	「カリキュラム・マネジメント」	
7.18	「知的障害教育の各教科の指導と学習評価」	
9.8	「学習状況の把握と評価規準の作成」	
10.13	「学習評価の妥当性を高めるには」	
11.30	定期訪問 「学習指導と学習評価の充実」 「評価改善を教育活動全体につなげていく」 「1人1台端末を活用した学びの充実」	静岡県総合教育センター 山田浩昭 特任教官

資質向上研修

実施日	演題・学習会内容	講師
6.29	自立活動学習会1 「感情の理解とコントロールの方法」	カレッジまどか 長田三千絵 指導教諭
未定	自立活動学習会2 「人間関係の形成に関する実践協議」	カレッジまどか 長田三千絵 指導教諭

## 6 防災対策について

<本校>

児童生徒の生命と身体の安全を守り、学校施設の保全を図るため、防災課を中心として全教職員防災対策を進めている。

- (1) 防災課を置き、施設の安全対策と、児童生徒に対する防災教育の充実を図っている。
- (2) 児童生徒の非常食と非常用飲料水を、一人当たり9食分備蓄している。また、職員用非常食と非常用飲料水については、2食分を一括購入し、高等部棟に保管している。
- (3) 非常用の薬が必要な児童生徒については、個々に集めて保健室で保管している。
- (4) 避難経路や防災設備点検と、防災備品のメンテナンスを防災課員が月1回実施している。
- (5) 児童生徒の登下校時や在宅時における災害（地震や大雨等の悪天候）についても対応を検

討し、マニュアル整備を進めている。

- (6) 富士市の担当者と連絡を取り、福祉避難所の開設と運営に向けた準備を進めている。
- (7) 学部や課程ごと、児童生徒の実態に応じた防災教育を実施している。
- (8) 災害時初期メンバーを決め、災害発生時に速やかに適切な対応がとれるように準備をしている。
- (9) 災害時の電源確保のためソーラー発電を設置、発電機を5台所有している。
- (10) 富士山の噴火を想定し、ゴーグルとマスクをつけた訓練を行っている。
- (11) 分掌課長等を集めた拡大運営委員会を開き、感染症対策も含めた避難計画の見直しを行っている。

#### 4年度防災訓練の実施状況

回数	実施月	想定	内容
1	4月28日	地震	全校参加の避難訓練・避難経路の確認
2	6月27日	火災	全校参加の避難訓練・避難経路の確認・消防通報・消火
3	11月30日	噴火	南海トラフ地震に関連する情報発令を想定した全校引き渡し訓練
4	1月12日	抜打ち	全校児童生徒、職員による情報伝達・避難訓練・避難経路確認

6月23日 防災講演会

8月1日 福祉避難所設営研修

8月2日 HUG避難所運営ゲーム

8月26日 被災地オンライン研修

#### 5年度防災訓練の実施状況及び計画

回数	実施月	想定	内容
1	5月2日	地震	全校参加の避難訓練・避難経路の確認
2	6月27日	火災	全校参加の避難訓練・避難経路の確認・消防通報・消火
3	11月28日	噴火	南海トラフ地震に関連する情報発令を想定した全校引き渡し訓練
4	1月29日	抜打ち	全校児童生徒、職員による情報伝達・避難訓練・避難経路確認

6月8日 福祉防災講演会

6月28日 福祉防災講演会

8月1日 福祉避難所設営研修

8月3日 HUG避難所運営ゲーム

#### <富士宮分校>

生徒の安全と安心な学校生活を保障するため、防災担当を中心として全教職員で防災対策を進めている。

- (1) 危機管理マニュアルを作成し、全職員に配布。これを基に役割分担と任務、地震災害応急対策の流れなどについて、全職員で確認し、具体的な想定も含めて研修会を行った。
- (2) 学校備蓄品以外に、生徒・職員の非常用飲料水・食料（4食分）、衣類を常備している。常備薬については個々の物を非常用に預かっている。年度当初に防災倉庫の中を職員全員で確認。防災用品の保管場所、数や使用方法など課題意識や見通しをもつことができた。
- (3) 隣接校の富士宮北高校との連携を推進している。
- (4) 地域の防災体制について情報を収集する。
- (5) 生徒が自分の住んでいる地域における防災について、知識を広げ行動できるような学びを充実する。

#### 4年度防災訓練実施状況

回数	実施日	想定	内 容
1	5月9日	地震	地震想定（避難路確認）
2	9月1日	災害時	富士宮北高校合同訓練（1年生が高校の家庭科室、2年生が図書室、3年生は分校から避難）
3	9月3日	災害時	災害伝言ダイヤル聞き取り訓練
4、5	2・3学期に各1回	地震、火災	*抜き打ち訓練（避難対応訓練、避難経路確認）

#### 5年度防災訓練の実施状況及び計画

回数	実施日	想定	内 容
1	5月12日	地震	地震想定（避難路確認）
2	9月1日	災害時	富士宮北高校合同訓練（1年生が高校の家庭科室、2年生が図書室、3年生は分校から避難、）
3	9月3日	災害時	災害伝言ダイヤル聞き取り訓練
4、5	2・3学期に各1回	地震、火災	*抜き打ち訓練（避難対応訓練、避難経路確認）

#### <富士東分校>

生徒の安全と安心な学校生活を保障するため、生徒指導課（防災担当）を中心として全教職員で防災対策を進めている。また富士東高等学校の防災担当と連絡・調整を図り、両校が連携する形で防災対策に取り組めるようにしている。

#### 【防災対策】

- (1) 防災計画の立案
- (2) 令和5年3月に策定された「富士山火山避難基本計画」を踏まえた危機管理マニュアルの作成と周知徹底
- (3) 防災備蓄品の管理、防災訓練の計画・実施（富士東高校との連絡・調整）
- (4) 学校備蓄品以外に、生徒の非常用飲料水・食料（4食分）、非常用衣類を常備している。
- (5) 常備薬については個々の物を非常用に預かっている。

※富士東分校単独での消防計画の作成と提出は不要。富士東高校に含まれているとみなす。

（令和5年7月12日：富士市消防本部予防課に確認）分校に防火管理者をおく必要もない。

#### 【防災教育】

- (1) 防災研修会の計画・実施（職員向け）
- (2) 防災教育の推進（防災講座） 年1回
- (3) 総合的な探求の時間 月1～2回
  - ・静岡県防災学習のアプリを活用し、地震の仕組みや、地震から身を守る方法について学習を行っている。またハザードマップを活用し、災害時に自宅周辺や通学路で危険性について調べる学習を行っている。

#### 5年度防災訓練の実施状況及び計画

回数	実施日	想定	内 容
1	4月12日	地震	避難経路の確認（富士東高校と合同）
1	9月1日	災害時	富士東高校と合同訓練
1	9月	災害時	災害伝言ダイヤル体験
1	11月		地域防災訓練アンケート

7 学校開放について

令和4年度 実績なし

令和5年度（令和5年7月31日現在）実績なし

## 事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法 (第1条、第2条) 学校教育法 (第1条、第2条、第3条、第72条、第73条、 第74条、第76条、第77条、第82条) 学校教育法施行規則 学校保健安全法 (第5条) 学校給食法 (第4条) 特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律 (第3条) 静岡県立学校設置条例 静岡県立特別支援学校学則 静岡県就学支援委員会規則 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 特別支援学校高等部学習指導要領
2 学校の管理・運営に 関すること	学校教育法 (第76条、第137条) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (第33条) 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法 (第21条、第22条) 学校保健安全法 (第7条、第8条、第9条、第15条、第27条) 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法 (第3条、第4条) 特別支援学校への就学奨励に関する法律 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則 特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費補助金 交付要綱

□□□□□□

## 学 校 施 設 の 概 要

### 1 面積及び所有区分

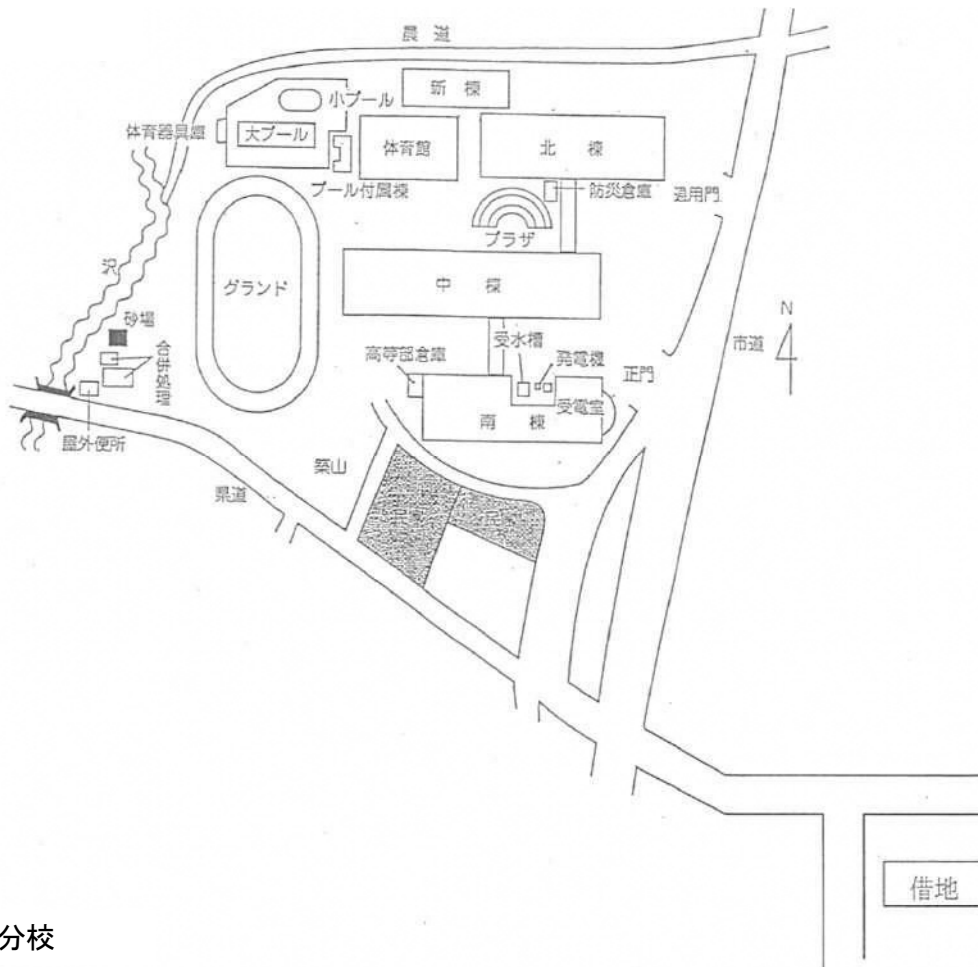
(令和5年7月31日現在)

区 分	面 積 m <sup>2</sup>	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m <sup>2</sup>	国 有 m <sup>2</sup>	市町村有 m <sup>2</sup>	後援会有 m <sup>2</sup>	民 有 m <sup>2</sup>	
学 校 敷 地	25,256.80	24,141.80				1,115.00	本校 20,211.54m <sup>2</sup> 富士宮分校 5,043.26m <sup>2</sup> 富士東分校 2.00m <sup>2</sup> 富士東高使用承認
内 訳	校 舎 敷 地	19,551.14	19,551.14				本校 14,507.88m <sup>2</sup> 富士宮分校 5,043.26m <sup>2</sup>
	運 動 場 敷 地	4,588.66	4,588.66				本校 4,588.66m <sup>2</sup>
	そ の 他 の 敷 地	1,117.00	2.00			1,115.00	本校 1,115.00m <sup>2</sup> 富士東分校 2.00m <sup>2</sup> 富士東高使用承認
校 舎	建 5,368.39	5,368.39					本校 建 3,942.90m <sup>2</sup> 延 8,264.79m <sup>2</sup> 富士宮分校 建 787.84m <sup>2</sup> 延 1,177.68m <sup>2</sup> 富士東分校 建 637.65m <sup>2</sup> 延 657.90m <sup>2</sup> 富士東高使用承認
	延 10,100.37	10,100.37					
体 育 館	建 501.54	501.54					本校 建 501.54m <sup>2</sup>
	延 500.04	500.04					延 500.04m <sup>2</sup>
そ の 他 の 建 物	建 745.51	745.51					本校 建 717.95m <sup>2</sup> 延 712.15m <sup>2</sup> 富士宮分校 建 27.56m <sup>2</sup> 延 27.56m <sup>2</sup>
	延 739.71	739.71					
プ ー ル	2	2					本校 大 25m×8m 変形 11.075m×5m

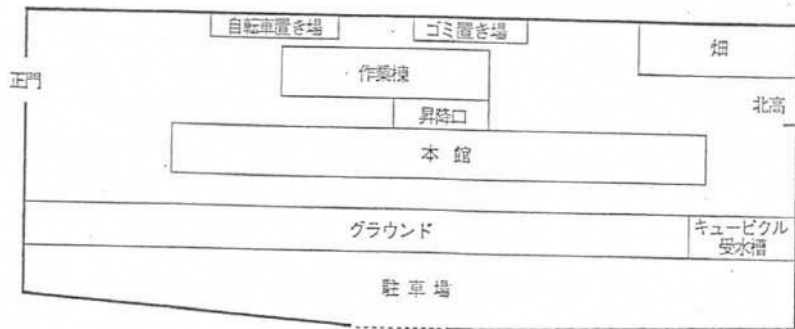


2 配置・規模等

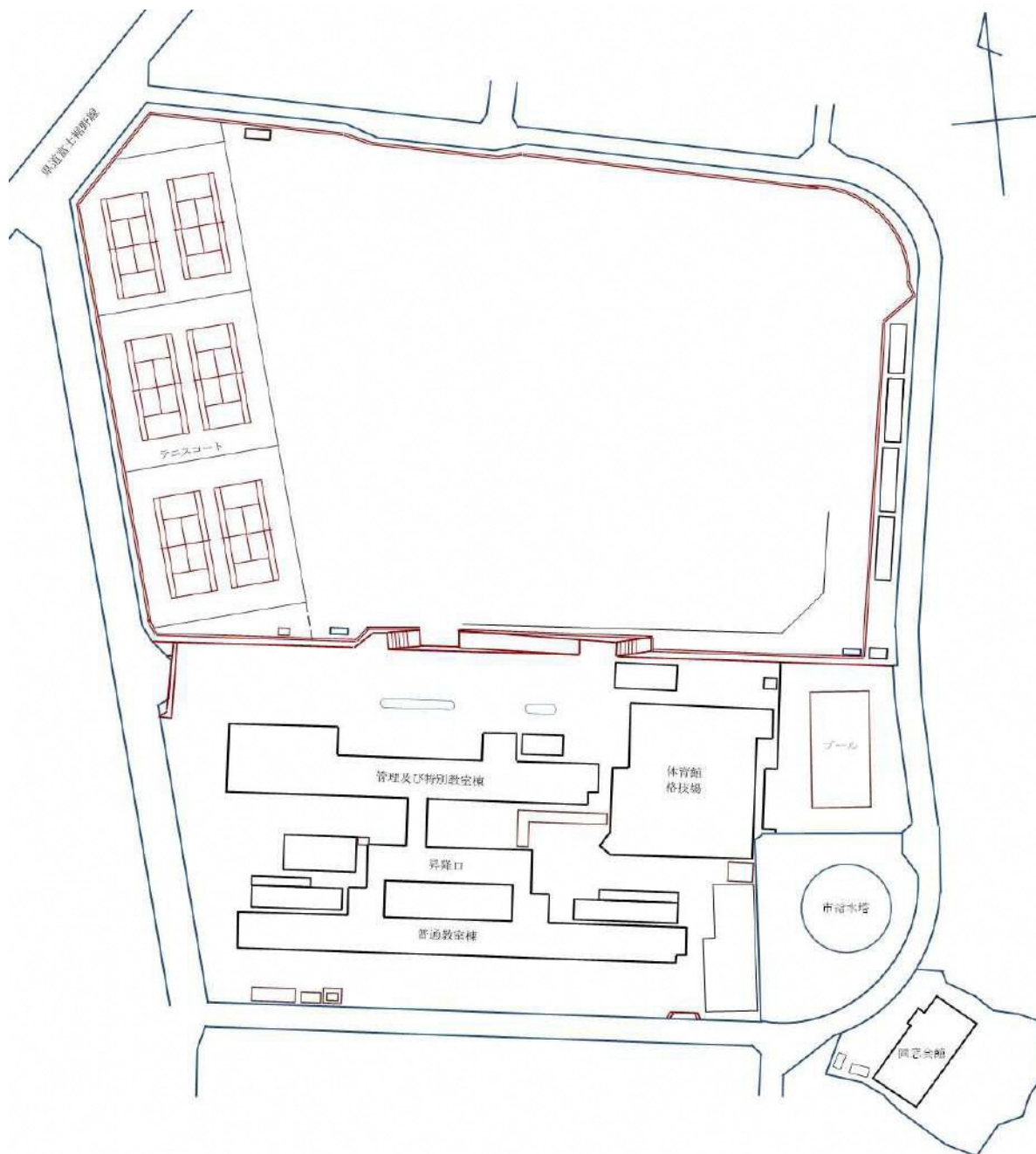
本校



富士宮分校



富士東分校



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
本 校	19,096.54㎡	8,264.79㎡	4,588.66㎡
富士宮分校	5,043.26㎡	1,177.68㎡	0.00㎡
富士東分校	0.00㎡	657.90㎡	0.00㎡
県平均	18,814.78㎡	6,914.52㎡	5,244.39㎡

在 籍 児 童 生 徒 調

(令和5年7月31日現在)

学年 区分	課程	本 校									訪 問 教 育									本校合計				富士宮分校				富士東分校											
		小 学 部			中 学 部			高 等 部			小 学 部			中 学 部			高 等 部			本校合計				高等部				高等部											
		男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計						
1年	入学者	19	10	29	20	15	35	42	25	15	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	1	45	65	40	105	27	14	4	18	18	10	5	15		
	増 加	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		
	減 少	0	0	0	0	0	0		1	0	1	0	0	0	0	0	0		1	0	1		1	0	1		2	0	2		0	0	0		0	0	0		
	現 在	19	10	29	20	15	35		24	15	39	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		63	40	103		14	4	18		10	5	15		
2年	入学者	18	9	27	21	14	35	45	25	15	40	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	65	38	103	27	15	11	26						
	増 加	1	0	1	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		1	0	1		0	0	0						
	減 少	1	1	2	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		1	1	2		0	0	0						
	2年生当初	18	8	26	21	14	35		25	15	40	1	0	1	0	0	0		0	0	0		0	0	0		65	37	102		15	11	26						
	増 加	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0						
	減 少	0	0	0	0	0	1	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	1	1		0	0	0					
	現 在	18	8	26	21	13	34		25	15	40	1	0	1	0	0	0		0	0	0		0	0	0		65	36	101		15	11	26						
3年	入学者	15	9	24	17	9	26	54	30	19	49	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	54	62	38	100	27	16	7	23					
	増 加	1	0	1	2	1	3		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		4	1	5		0	0	0					
	減 少	0	0	0	1	0	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		1	0	1		2	0	2					
	2年生当初	16	9	25	18	10	28		31	19	50	0	0	0	0	0	1	1		0	0	0		0	0	0		65	39	104		14	7	21					
	増 加	1	0	1	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		1	0	1		0	0	0					
	減 少	2	0	2	1	0	1		3	0	3	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		6	0	6		0	0	0					
	3年生当初	15	9	24	17	10	27		28	19	47	0	0	0	0	0	1	1		0	0	0		0	0	0		60	39	99		14	7	21					
	増 加	0	0	0	0	0	1	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	1	1		0	0	0				
	減 少	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0					
	現 在	15	9	24	17	11	28		28	19	47	0	0	0	0	0	1	1		0	0	0		0	0	0		60	40	100		14	7	21					
4年	入学者	14	10	24								0	0	0												14	10	24											
	増 加	1	1	2								0	0	0												1	1	2											
	減 少	0	2	2								0	0	0												0	2	2											
	2年生当初	15	9	24								0	0	0												15	9	24											
	増 加	1	1	2								0	0	0												1	1	2											
	減 少	1	0	1								0	0	0												1	0	1											
	3年生当初	15	10	25								0	0	0												15	10	25											
	増 加	0	0	0								0	0	0												0	0	0											
	減 少	0	0	0								0	0	0												0	0	0											
	4年生当初	15	10	25								0	0	0												15	10	25											
	増 加	0	0	0								0	0	0												0	0	0											
減 少	0	0	0								0	0	0												0	0	0												
現 在	15	10	25								0	0	0												15	10	25												

□□□□□□

在 籍 児 童 生 徒 調

(令和5年7月31日現在)

学年 区分	課程	本 校									訪 問 教 育									本校合計				富士宮分校				富士東分校				
		小 学 部			中 学 部			高 等 部			小 学 部			中 学 部			高 等 部			本校合計				高等部				高等部				
		男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子
5年	入学者	17	4	21							0	0	0										17	4	21							
	増 加	0	1	1							0	0	0										0	1	1							
	減 少	0	0	0							0	0	0										0	0	0							
	2年生当初	17	5	22							0	0	0										17	5	22							
	増 加	1	0	1							1	0	1										2	0	2							
	減 少	1	0	1							0	0	0										1	0	1							
	3年生当初	17	5	22							1	0	1										18	5	23							
	増 加	1	0	1							0	0	0										1	0	1							
	減 少	0	0	0							0	0	0										0	0	0							
	4年生当初	18	5	23							1	0	1										19	5	24							
	増 加	0	1	1							0	0	0										0	1	1							
	減 少	0	1	1							0	0	0										0	1	1							
	5年生当初	18	5	23							1	0	1										19	5	24							
	増 加	0	1	1							0	0	0										0	1	1							
	減 少	0	0	0							0	0	0										0	0	0							
現 在	18	6	24							1	0	1										19	6	25								
6年	入学者	20	8	28							0	0	0										20	8	28							
	増 加	0	0	0							0	0	0										0	0	0							
	減 少	0	0	0							0	0	0										0	0	0							
	2年生当初	20	8	28							0	0	0										20	8	28							
	増 加	0	1	1							0	0	0										0	1	1							
	減 少	1	2	3							0	0	0										1	2	3							
	3年生当初	19	7	26							0	0	0										19	7	26							
	増 加	0	1	1							0	0	0										0	1	1							
	減 少	0	1	1							0	0	0										0	1	1							
	4年生当初	19	7	26							0	0	0										19	7	26							
	増 加	1	1	2							0	0	0										1	1	2							
	減 少	0	0	0							0	0	0										0	0	0							
	5年生当初	20	8	28							0	0	0										20	8	28							
	増 加	0	0	0							0	0	0										0	0	0							
	減 少	1	0	1							0	0	0										1	0	1							
6年生当初	19	8	27							0	0	0										19	8	27								
増 加	0	0	0							0	0	0										0	0	0								
減 少	0	0	0							0	0	0										0	0	0								
現 在	19	8	27							0	0	0										19	8	27								
合 計	104	51	155	58	39	97		77	49	126	2	0	2	0	1	1		0	0	0				241	140	381	43	22	65	10	5	15

□□□□□□

## 入学志願者及び入学者数調

(本校)

区 分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
学 科 別	高等部	高等部	高等部	高等部	高等部	
生徒定員 (A)	69	54	54	45	45	
募集定員 (B)	69	54	54	45	45	
志願者数	男	37 (1)	30 (0)	30 (0)	25 (0)	26 (0)
	女	20 (0)	15 (0)	19 (0)	15 (0)	15 (0)
	計 (C)	57 (1)	45 (0)	49 (0)	40 (0)	41 (0)
受検者数	男	37 (1)	29 (0)	30 (0)	25 (0)	26 (0)
	女	20 (0)	15 (0)	19 (0)	15 (0)	15 (0)
	計 (D)	57 (1)	44 (0)	49 (0)	40 (0)	41 (0)
合格者数	男	36 (0)	29 (0)	30 (0)	25 (0)	26 (0)
	女	20 (0)	15 (0)	19 (0)	15 (0)	15 (0)
	計 (E)	56 (0)	44 (0)	49 (0)	40 (0)	41 (0)
志願倍率 (C)/(B)	0.83	0.83	0.91	0.89	0.91	
受検倍率 (D)/(B)	0.83	0.81	0.91	0.89	0.91	
入学者数	男	36	29	30	25	26
	女	20	15	19	15	15
	計 (F)	56	44	49	40	41
充足率 (F)/(A)	0.81	0.81	0.91	0.89	0.91	

(富士宮分校)

区 分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
学 科 別	高等部	高等部	高等部	高等部	高等部	
生徒定員 (A)	27	27	27	27	27	
募集定員 (B)	27	27	27	27	27	
志願者数	男	22 (0)	20 (0)	16 (0)	15 (0)	14 (0)
	女	15 (0)	8 (0)	7 (0)	11 (0)	4 (0)
	計 (C)	37 (0)	28 (0)	23 (0)	26 (0)	18 (0)
受検者数	男	22 (0)	20 (0)	16 (0)	15 (0)	14 (0)
	女	15 (0)	8 (0)	7 (0)	11 (0)	4 (0)
	計 (D)	37 (0)	28 (0)	23 (0)	26 (0)	18 (0)
合格者数	男	17 (0)	19 (0)	16 (0)	15 (0)	14 (0)
	女	10 (0)	8 (0)	7 (0)	11 (0)	4 (0)
	計 (E)	27 (0)	27 (0)	23 (0)	26 (0)	18 (0)
志願倍率 (C)/(B)	1.37	1.04	0.85	0.96	0.67	
受検倍率 (D)/(B)	1.37	1.04	0.85	0.96	0.67	
入学者数	男	17	19	16	15	14
	女	10	8	7	11	4
	計 (F)	27	27	23	26	18
充足率 (F)/(A)	1.00	1.00	0.85	0.96	0.67	

□□□□□□

入学志願者及び入学者数調

(富士東分校)

区 分		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
学 科 別		高等部	高等部	高等部	高等部	高等部
生徒定員 (A)						18
募集定員 (B)						18
志願者数	男					10 (0)
	女					5 (0)
	計 (C)					15 (0)
受検者数	男					10 (0)
	女					5 (0)
	計 (D)					15 (0)
合格者数	男					10 (0)
	女					5 (0)
	計 (E)					15 (0)
志願倍率 (C)/(B)						0.83
受検倍率 (D)/(B)						0.83
入学者数	男					10
	女					5
	計 (F)					15
充足率 (F)/(A)						0.83

## 卒業生の動向調

区 分		中学部	高 等 部				合 計
			本 校		富士宮分校		
			本科	専攻科	本科	専攻科	
高等学校 (本科)	全日制	0	/	/	/	/	0
	定時制	0	/	/	/	/	0
	通信制	0	/	/	/	/	0
特別支援学校高等部		30	/	/	/	/	30
その他高等学校等		0	/	/	/	/	0
大学等	大学(学部)	/	0	/	0	/	0
	短期大学(本科)	/	0	/	0	/	0
	大学・短大の 通信教育学部等	/	0	/	0	/	0
	その他大学等	/	0	/	0	/	0
特別支援学校高等部専攻科		/	0	/	0	/	0
専修学校(専門課程)		0	0	/	0	/	0
専修学校(一般課程)・各種学校		0	0	/	0	/	0
公共職業能力開発施設等		0	0	/	0	/	0
就 職		0	6	/	19	/	25
上記以外※		1	37	/	8	/	46
不詳・死亡		0	0	/	0	/	0
計 ( 卒 業 者 総 数 )		31	43	/	27	/	101

(再掲) 「上記以外※」のうち、社会福祉施設等入所、通所者

区 分		中学部	高 等 部				合 計
			本 校		富士宮分校		
			本科	専攻科	本科	専攻科	
児童福祉施設		0	0	/	0	/	0
障害者支援施設		1	37	/	8	/	46
(うち就労系支援事業利用者)		(0)	(17)	/	(6)	/	(23)
医療機関		0	0	/	0	/	0
計		1	37	/	8	/	46

# 生徒の状況

## 1 児童生徒の出身地域及び通学方法

### (1) 出身地

<本校> (令和5年7月31日現在) (単位：人)

市町名	富士市	富士宮市	合計
児童生徒数	259	119	378
構成比%	68.5%	31.5%	100%

※訪問教育は除く

<富士宮分校>

市町名	富士市	富士宮市	合計
生徒数	32	33	65
構成比%	49.2%	50.8%	100%

<富士東分校>

市町名	富士市	合計
生徒数	15	15
構成比%	100.0%	100%

### (2) 通学方法

<本校> (令和5年7月31日現在) (単位：人)

区分	スクールバス	交通機関	保護者の送迎	徒歩	合計
児童生徒数	163	155	49	11	378
構成比%	43.1%	41.0%	13.0%	2.9%	100%

※訪問教育は除く

<富士宮分校>

区分	交通機関	徒歩	自転車	合計
生徒数	48	10	7	65
構成比%	73.8%	15.4%	10.8%	100%

<富士東分校>

区分	交通機関	保護者の送迎	徒歩	自転車	合計
生徒数	8	1	4	2	15
構成比%	53.3%	6.7%	26.7%	13.3%	100%

### (3) 訪問教育の状況 (令和5年7月31日現在) (単位：人)

訪問教員等		市町	富士市	合計	
小・中 学 部	教諭	1	小学部	2	2
	教諭(任・臨)	1	中学部	1	1
高等部	教諭	1	高等部	0	0
	教諭(任・臨)	0			
計		3	計	3	3



＜本校＞ 高等部 (令和5年7月31日現在) (単位：人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		1	1		2
男子	1 年	5	2	17	24
	2 年	4	5	16	25
	3 年	5	1	22	28
	計 (A)	14	8	55	77
	構成比	18.2%	10.4%	71.4%	100%
女子	1 年	0	0	15	15
	2 年	1	4	10	15
	3 年	1	3	15	19
	計 (B)	2	7	40	49
	構成比	4.1%	14.3%	81.6%	100%
合計 (A+B)		16	15	95	126
合計 構成比		12.7%	11.9%	75.4%	100%

＜富士宮分校＞ 高等部

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		2	3		5
男子	1 年	7	6	1	14
	2 年	9	6	0	15
	3 年	4	10	0	14
	計 (A)	20	22	1	43
	構成比	46.5%	51.2%	2.3%	100%
女子	1 年	3	1	0	4
	2 年	4	7	0	11
	3 年	2	5	0	7
	計 (B)	9	13	0	22
	構成比	40.9%	59.1%	0.0%	100%
合計 (A+B)		29	35	1	65
合計 構成比		44.6%	53.9%	1.5%	100%

＜富士東分校＞ 高等部

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		1	1		2
男子	1 年	6	0	4	10
	2 年				
	3 年				
	計 (A)	6	0	4	10
	構成比	60.0%	0.0%	40.0%	100%
女子	1 年	4	1	0	5
	2 年				
	3 年				
	計 (B)	4	1	0	5
	構成比	80.0%	20.0%	0.0%	100%
合計 (A+B)		10	1	4	15
合計 構成比		66.7%	6.7%	26.7%	100%

<本校> (令和5年7月31日現在) (単位：人)

区 分		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計	学 級 数
小学部	単一障害	18	8	11	13	16	15	81	16
	重複障害	8	12	11	8	5	8	52	17
	肢体重複	3	6	2	4	3	4	22	9
	合 計	29	26	24	25	24	27	155	42
中学部	単一障害	19	17	15	/	/	/	51	10
	重複障害	10	13	11	/	/	/	34	12
	肢体重複	6	4	2	/	/	/	12	5
	合 計	35	34	28	/	/	/	97	27
高等部	単一障害	35	32	40	/	/	/	107	13
	重複障害	3	3	2	/	/	/	8	3
	肢体重複	1	5	5	/	/	/	11	5
	合 計	39	40	47	/	/	/	126	21

<富士宮分校>

区 分		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計	学 級 数
高等部	単一障害	18	26	21	/	/	/	65	8
	重複障害	0	0	0	/	/	/	0	
	肢体重複	0	0	0	/	/	/	0	
	合 計	18	26	21	/	/	/	65	8

<富士東分校>

区 分		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計	学 級 数
高等部	単一障害	15	/	/	/	/	/	15	2
	重複障害	0	/	/	/	/	/	0	0
	肢体重複	0	/	/	/	/	/	0	0
	合 計	15	/	/	/	/	/	15	2

4 起因疾患別児童生徒数

<本校> (令和5年7月31日現在) (単位：人)

区 分	脳・神経系疾患						遺伝子疾患		その他の疾患			発 達 障 害	そ の 他	計
	脳 性 マ ヒ	て ん か ん	水 頭 症	小 頭 症	脳 炎・ 脳 症 後 遺 症	そ の 他	ダ ウ ン 症 候 群	そ の 他	代 謝 異 常	心 ・ 血 液 系 疾 患	そ の 他			
小学部	8	6	1	0	3	2	17	11	0	1	0	87	19	155
中学部	8	4	0	0	3	1	21	8	0	0	0	40	12	97
高等部	3	2	2	1	4	1	12	2	0	0	1	63	35	126
訪 問	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3
計	19	12	3	1	10	5	50	22	0	1	1	191	66	381

<富士宮分校>

高等部	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	22	40	65
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

<富士東分校>

高等部	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6	7	15
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

□□□□□□

特別支援学校における生産物売払調

令和5年度

(令和5年7月31日現在)

		主な生産品目	
令和5年度	<機械加工品> 椅子  <陶芸品> 小皿、中皿、箸置き、マグネット  <クラフト品> かご 小、小物  <リサイクル品> 油捨てパック  <農作物> じゃがいも、にんにく  <縫製品> コースター、ランチョンマット、ティッシュカバー		
	① 売払金額	31,700 円	②令和4年度との差額 △224,340 円
令和4年度	<紙工品> 大淵紙、はがき、ポチ袋  <織物> コースター、ランチョンマット、ポーチ  <機械加工品> マグネット、ミニ椅子、椅子、ひのきチップ  <陶芸品> マグネット、小皿、中皿、豆皿、中深皿、箸置き  <クラフト品> 小物、ストラップ、かご  <リサイクル品> 油捨てパック  <農作物> なす、とうもろこし、大根、さつまいも、じゃがいも		

	<セット品> 富士山セット			
	① 売払金額	256,040 円	② 令和3年度との差額	87,490 円
令和3年度	<紙工品> 大淵紙			
	<織物> 手帳カバー、ティッシュカバー、ランチョンマット、コースター			
	<機械加工品> マグネット、椅子、トレイ			
	<陶芸品> 角皿 大、中深皿、中皿、小皿、豆皿、箸置き、マグネット			
	<クラフト品> かご小、小物			
	<リサイクル品> コーヒー脱臭剤、油捨てパック			
	<農作物> 落花生、かぼちゃ、小松菜、わくわくコーン、なす、カリフラワー、空心菜、ピーマン、白なす、じゃがいも			
	① 売払金額	168,550 円	② 令和2年度との差額	△68,400 円

特別支援学校における生産物売払調

令和5年度

(令和5年7月31日現在)

		主な生産品目		
令和5年度	<p>&lt;富士宮分校 陶芸品&gt; カップ (大)、カップ (小)、ぷちりん挿し</p> <p>&lt;富士宮分校 縫製品&gt; フェルトドーナツ、ボタンつなぎ、フェルト絵本</p> <p>&lt;富士宮分校 木工品&gt; スマホスピーカー、スマホスタンド、カッティングボード小</p> <p>&lt;富士宮分校 レザー製品&gt; ネームホルダー、カードケース、スマホポーチ</p> <p>&lt;富士宮分校 農作物・園芸品&gt; ピーマン、きゅうり、いんげん、モロヘイヤ、なす</p>			
	① 売払金額	21,800 円	② 令和4年度との差額 △412,700 円	
令和4年度	<p>&lt;富士宮分校 陶芸品&gt; 皿、カップ (小)、カップ (大)、ぷちりん挿し</p> <p>&lt;富士宮分校 縫製品&gt; フェルトドーナツ、ボタンつなぎ、フェルト絵本</p> <p>&lt;富士宮分校 木工品&gt; コースター、スマホスピーカー、マウスパッド、鍋敷き、スマホスタンド、ランチトレイ、カッティングボード (大)、カッティングボード (小)、カフェトレイ、ドリップスタンド</p> <p>&lt;富士宮分校 レザー製品&gt; カップスリーブ、カードケース、ネームホルダー、スマホポーチ、小物入れ、ペン立て、ストラップ</p> <p>&lt;富士宮分校 農作物・園芸品&gt; きゅうり、なす、にんにく、ピーマン、落花生、唐辛子、モロヘイヤ、児玉すいか、かぶ、春菊、白菜、スティックセニョール、大根、人参、フラワーポット</p>			
	① 売払金額	434,500 円	② 令和3年度との差額 △51,100 円	

令和3年度	<富士宮分校 陶芸品> ぷちりん挿し、小皿、カップ(小)、大皿、カップ(大)、箸置きセット			
	<富士宮分校 縫製品> ミニドーナツセット、移動ポケット、ボタンつなぎ、マスクケース、フェルト絵本			
	<富士宮分校 木工品> カuttingボード小、ドリップスタンドフィルターホルダーセット、Cuttingボード大、カフェトレイ、スマホスピーカー、コースター、ランチトレイ			
	<富士宮分校 レザー製品> キーホルダー、カップスリーブ、ネームホルダー、カードケース、パスケース			
	<富士宮分校 農作物・園芸品> スティックセニョール、ピーマン、なす、落花生、アロマワックスバー、フラワーポット、白菜、大根、にんじん、かぶ、春菊、いんげん、にんにく、唐辛子、じゃがいも、ゴーヤ、モロヘイヤ、オクラ			
	① 売払金額	485,600 円	② 令和2年度との差額	81,500 円

□□□□□□

### 預 金 調

(令和5年7月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
スルガ銀行 富士吉原支店	無利息型 普通預金	2864184	富士特別支援学校 資金前渡者 滝尾 彰彦	0	職員給与用
スルガ銀行 富士吉原支店	無利息型 普通預金	2864183	(自振口)富士特別支援学校 資金前渡者 滝尾 彰彦	0	電気料、電話料、社会保 険料等の口座振替用
スルガ銀行 富士吉原支店	無利息型 普通預金	2864182	静岡県立富士特別支援学校 奨励費代理受領者 滝尾 彰彦	0	就学奨励費用
残 高 合 計				0	

□□□□□□

### 郵 券 等 受 払 調

(令和5年7月31日現在)

(単位：枚、円)

区 分	種 類	令和4年度						令和5年度						差引現在高	摘 要	
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出				
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額			
郵 券	1円券	16	16	0	0	1	1	15	15	0	0	0	0	15	15	書類等 送付用
	2円券	30	60	0	0	7	14	23	46	0	0	2	4	21	42	
	10円券	50	500	0	0	12	120	38	380	0	0	0	0	38	380	
	50円券	6	300	0	0	1	50	5	250	0	0	0	0	5	250	
	62円券	2	124	0	0	2	124	0	0	0	0	0	0	0	0	
	84円券	11	924	160	13,440	143	12,012	28	2,352	87	7,308	91	7,644	24	2,016	
	92円券	28	2,576	0	0	8	736	20	1,840	0	0	2	184	18	1,656	
	120円券	12	1,440	0	0	7	840	5	600	0	0	0	0	5	600	
	140円券	16	2,240	0	0	3	420	13	1,820	0	0	0	0	13	1,820	
	280円券	16	4,480	0	0	6	1,680	10	2,800	0	0	0	0	10	2,800	
	往復がき	1	100	0	0	0	0	1	100	0	0	0	0	1	100	
	62円はがき	2	124	0	0	0	0	2	124	0	0	0	0	2	124	
63円はがき	0	0	70	4,410	70	4,410	0	0	0	0	0	0	0	0		
計		/	12,884	/	17,850	/	20,407	/	10,327	/	7,308	/	7,832	/	9,803	

□□□□□□□□

## 材 料 品 受 払 調

(令和5年7月31日現在)

区分 品名	令和4年度						令和5年度						摘要		
	繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額		数量	金額
紙バンド	0	0	61	46,170	61	46,170	0	0	27	22,030	27	22,030	0	0	本校
粘土	0	0	9	50,710	9	50,710	0	0	0	0	0	0	0	0	本校
鑄込泥	0	0	4	74,800	4	74,800	0	0	0	0	0	0	0	0	富士宮分校
革	0	0	11	25,245	11	25,245	0	0	0	0	0	0	0	0	富士宮分校
粘土	0	0	4	14,850	4	14,850	0	0	0	0	0	0	0	0	富士宮分校
計	0	0	89	211,775	89	211,775	0	0	27	22,030	27	22,030	0	0	



□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和4年度)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					3年度	4年度	左のうち、 3年度からの 繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	589,050	/
			特別支援学校費	特別支援学校管理費	85,779,614	91,486,120	
			学校教育費	健康体育費	16,957,316	16,962,129	
計					102,736,930	109,037,299	0
(14) 工事請負費					0	0	/
計					0	0	0
(16) 公有財産購入費					0	0	/
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	791,450	0	/
			特別支援学校費	特別支援学校管理費	1,533,620	11,437,195	
計					2,325,070	11,437,195	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	58,300	45,500	/
計					58,300	45,500	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	0	/
計					0	0	0

□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和5年度)

(令和5年7月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、4年度 からの繰越額 分
(12) 委託料	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	23,464,098	0
			学校教育費	健康体育費	4,218,295	0
計					27,682,393	0
(14) 工事請負費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	2,612,500	0
計					2,612,500	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	42,600	0
計					42,600	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

□□□□□

## 委 託 料 に 関 す る 調

(令和4年度)

整理 番号	委 託 業務名	受 託 者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契 約 期 間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の 内 容	摘 要
				当初額	変 更 増減額	計						
1	(事務関係) 通学バス 輸送業務	富士急静岡バス 株鷹岡営業所	円 79,281,554	円 78,199,605	円 0	円 78,199,605	一般	自R4. 4. 1 R4. 5. 31 R4. 6. 30 R4. 7. 29 R4. 8. 31 R4. 9. 30 R4. 10. 31 R4. 11. 30 R4. 12. 27 R5. 1. 31 R5. 2. 28 R5. 3. 31 至R5. 3. 31 小 計	円 7,102,035 7,102,035 7,102,035 7,102,037 6,223,933 6,223,933 6,223,933 6,223,933 6,223,933 6,223,933 6,223,933 6,223,932 78,199,605	児童生徒の通 学バス輸送業 務(6台)	一般	
2	新型コロ ナウイルス 感染症 対策に伴 う通学バ ス輸送業 務	富士急静岡バス 株鷹岡営業所	3,797,200	3,797,200	0	3,797,200	随契	自R4. 8. 30 R4. 10. 31 R4. 11. 30 R4. 12. 27 至R4. 12. 28 R5. 1. 31 小 計	759,440 759,440 759,440 759,440 759,440 3,797,200	新型コロナウ イルス感染症 対策に伴う通 学バス輸送業 務(1台)	随契2号 (不適)	
3	新型コロ ナウイルス 感染症 対策に伴 う通学バ ス輸送業 務	富士急静岡バス 株鷹岡営業所	2,420,715	2,420,715	0	2,420,715	随契	自R5. 1. 6 R5. 2. 28 R5. 3. 31 R5. 4. 28 至R5. 3. 31 小 計	806,905 806,905 806,905 2,420,715	新型コロナウ イルス感染症 対策に伴う通 学バス輸送業 務(1台)	随契2号 (不適)	
4	学校給食 業務	株ホーユー	49,418,600	48,953,520	0	48,953,520	不随	自R2. 8. 11 R4. 5. 31 R4. 6. 30 R4. 7. 29 R4. 8. 31 R4. 9. 30 R4. 10. 31 R4. 11. 30 R4. 12. 27 R5. 1. 31 R5. 2. 28 R5. 3. 31 至R5. 7. 31 小 計	(27,196,400) 1,359,820 1,359,820 1,359,820 1,359,820 1,359,820 1,359,820 1,359,820 1,359,820 1,359,820 1,359,820 1,359,820 1,359,820 16,317,840	学校給食調理 (配膳)業務	2長期	
5	スクール バス運行 管理業務	大新東(株)静岡 営業所	17,533,384	16,082,000	0	16,082,000	一般	自R3. 6. 1 R4. 5. 31 R4. 6. 30 R4. 7. 29 R4. 8. 31 R4. 9. 30 R4. 10. 31 R4. 11. 30 R4. 12. 27 R5. 1. 31 R5. 2. 28 R5. 3. 31 至R6. 3. 31 小 計	(4,730,000) 473,000 473,000 473,000 473,000 473,000 473,000 473,000 473,000 473,000 473,000 473,000 473,000 5,676,000	スクールバス の運行管理業 務(1台)	3長期	
6	昇降機保 守管理業 務	フジテック(株) 静岡支店	930,600	930,600	0	930,600	随契	自R4. 4. 1 R4. 5. 31 R4. 6. 30 R4. 7. 29 R4. 8. 31 R4. 9. 30 R4. 10. 31 R4. 11. 30 R4. 12. 27 R5. 1. 31 R5. 2. 28 R5. 3. 31 至R5. 3. 31 小 計	73,150 73,150 73,150 99,550 73,150 73,150 73,150 73,150 73,150 99,550 73,150 73,150 930,600	エレベーター 設備の保守点 検業務(2台)	随契2号 (不適)	

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
7	給食可燃物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	369,750	369,750	0	369,750	随契	自R4. 4. 11 R4. 5. 31 R4. 6. 30 R4. 7. 29 R4. 8. 26 R4. 9. 30 R4. 10. 31 R4. 11. 30 R4. 12. 27 R5. 1. 31 R5. 2. 28 R5. 3. 31 至R5. 3. 31	28,545 36,000 41,415 29,025 2,085 39,555 37,095 34,995 29,610 31,200 35,280 21,360 小計 366,165	給食可燃物(生ごみ、紙くず)の収集運搬処分業務	随契1号(少額)単価契約	
8	給食不燃物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	113,300	113,300	0	113,300	随契	自R4. 4. 15 R4. 5. 31 R4. 6. 30 R4. 7. 29 R4. 8. 26 R4. 10. 31 R4. 11. 30 R4. 12. 27 R5. 1. 31 R5. 2. 28 R5. 3. 30 至R5. 3. 31	7,986 10,340 10,208 10,560 13,794 10,692 9,768 10,912 8,074 11,000 8,250 小計 111,584	給食不燃物(廃プラスチック類)の収集運搬処分業務	随契1号(少額)単価契約	
9	防鼠防虫業務	㈱アルパイン・エンタープライズ	92,400	92,400	0	92,400	随契	自R4. 4. 11 至R5. 3. 31	R4. 10. 31 R5. 4. 28 小計 46,200	46,200 46,200 92,400	防鼠・防虫業務	随契1号(少額)
10	廃プラスチック類収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	46,200	46,200	0	46,200	随契	自R4. 6. 27 至R4. 8. 31	R4. 8. 31	46,200	廃プラスチック類の収集運搬処分業務	随契1号(少額)
11	廃プラスチック類収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	46,200	46,200	0	46,200	随契	自R5. 2. 20 至R5. 3. 31	R5. 3. 31	46,200	廃プラスチック類の収集運搬処分業務	随契1号(少額)
12	雑排水管・グリストラップ等清掃及び産業廃棄物収集・運搬業務	三友水処理㈱	77,000	77,000	0	77,000	随契	自R4. 7. 15 至R4. 9. 30	R4. 9. 16	77,000	雑排水管・グリストラップ清掃に伴う汚泥収集・運搬業務	随契1号(少額)
13	雑排水管・グリストラップ等清掃及び産業廃棄物収集・運搬業務	三友水処理㈱	77,000	77,000	0	77,000	随契	自R5. 2. 13 至R5. 3. 31	R5. 3. 24	77,000	雑排水管・グリストラップ清掃に伴う汚泥収集・運搬業務	随契1号(少額)
14	グリストラップ槽汚泥処分業務	クリーンサービス㈱	6,600	6,600	0	6,600	随契	自R4. 7. 13 至R4. 9. 30	R4. 9. 22	6,600	グリストラップ清掃に伴う汚泥処分業務	随契1号(少額)単価契約
15	グリストラップ槽汚泥処分業務	クリーンサービス㈱	6,600	6,600	0	6,600	随契	自R5. 2. 13 至R5. 3. 31	R5. 3. 29	5,940	グリストラップ清掃に伴う汚泥処分業務	随契1号(少額)単価契約
16	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	92,400	92,400	0	92,400	随契	自R4. 6. 8 至R4. 8. 31	R4. 7. 29	92,400	不用品処分業務	随契1号(少額)
17	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	92,400	92,400	0	92,400	随契	自R4. 12. 6 至R5. 1. 31	R5. 1. 31	92,400	不用品処分業務	随契1号(少額)
18	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	92,400	92,400	0	92,400	随契	自R5. 3. 1 至R5. 3. 31	R5. 4. 28	92,400	不用品処分業務	随契1号(少額)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
19	アスベスト及びPCB他含有調査業務	㈱エコアップ	837,100	673,200	▲ 84,150	589,050	随契	自R4.9.2 至R4.10.31	R4.12.14	589,050	アスベスト及びPCB他含有調査	随契1号(少額)
	事務関係計	19件	155,331,403	152,169,090	▲ 84,150	152,084,940				109,037,299		
	合計	19件	155,331,403	152,169,090	▲ 84,150	152,084,940				109,037,299		
参考1	機械警備業務	セコム㈱		5,808,000	391,710	6,199,710		至R1.10.1 至R6.9.30			富士高校外8校の機械警備業務	1長期富士高校
参考2	自家用電気工作物保安管理業務	(一財)関東電気保安協会沼津事業本部		1,901,020	0	1,901,020		自R4.4.1 至R5.3.31			吉原工業高校外5校の電気工作物の保安管理点検業務	吉原工業高校
参考3	消防用設備点検業務	サンコー防災㈱		12,144,000	0	12,144,000		自R4.4.1 至R5.3.31			富士宮東高校外9校の消防設備等保守点検業務	富士宮東高校
参考4	プール浄化装置保守点検業務	(有)石川メンテナンス		190,080	0	190,080		自R4.4.18 至R4.10.31			富士東高校外8校のプール浄化装置保守点検業務	富士東高校
参考5	浄化槽保守点検業務	(有)石川メンテナンス		540,320	0	540,320		自R4.4.1 至R5.3.31			富士宮西高校外2校の浄化槽保守点検業務	富士宮西高校
参考6	可燃物収集運搬処分業務	㈱静岡総合処理センター		単価契約 運搬料1回につき 21,230円 処分料1kg15円	0	単価契約 運搬料1回につき 21,230円 処分料1kg15円		自R4.4.6 至R5.3.31			吉原高校外4校の可燃物収集運搬処分業務	吉原高校 単価契約
参考7	可燃物収集運搬処分業務	㈱静岡総合処理センター		単価契約 運搬料1回につき 3,300円 処分料1kg15円	0	単価契約 運搬料1回につき 3,300円 処分料1kg15円		自R4.4.8 至R5.3.31			富士宮西高校外4校の可燃物収集運搬処分業務	富士宮西高校 単価契約
参考8	ガスヒートポンプ点検業務	(株)ユアーズ静岡		1,252,350	0	1,252,350		自R4.6.3 至R4.8.19			富士宮北高校外5校のガスヒートポンプ点検業務	富士宮北高校
参考9	富士・富士宮地区県立学校定期点検業務	㈱平柳建築設計事務所		2,691,700	0	2,691,700		自R4.9.9 至R4.12.27			建築基準法第12条に基づく建築及び建築設備の定期点検業務	吉原高校
	計	9件										

□□□□□

委託料に関する調

(令和5年度)  
(令和5年7月31日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 通学バス輸送業務	富士急静岡バス(株)藤岡営業所	81,314,508	80,221,130	0	80,221,130	一般	自R5.4.1 至R6.3.31	R5.5.31 R5.6.30 R5.7.31 小計	円 7,278,406 7,278,406 7,278,406 21,835,218	児童生徒の通学バス輸送業務(6台)	一般
2	学校給食業務	㈱ホーユー	49,418,600	48,953,520	0	48,953,520	不随	自R2.8.11 至R5.7.31	R5.5.31 R5.6.30 R5.7.31 小計	(43,514,240) 1,359,820 1,359,820 1,359,820 4,079,460	学校給食調理(配膳)業務	2長期
3	スクールバス運行管理業務	大新東(株)静岡営業所	17,533,384	16,082,000	0	16,082,000	一般	自R3.6.1 至R6.3.31	R5.5.31 R5.6.30 R5.7.31 小計	(10,406,000) 473,000 473,000 473,000 1,419,000	スクールバスの運行管理業務(1台)	3長期
4	昇降機保守管理業務	フジテック(株)静岡支店	892,320	892,320	0	892,320	随契	自R5.4.1 至R6.3.31	R5.5.31 R5.6.30 R5.7.31 小計	69,960 69,960 69,960 209,880	エレベーター設備の保守点検業務(2台)	随契2号(不適)
5	給食可燃物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	368,250	368,250	0	368,250	随契	自R5.4.12 至R6.3.31	R5.5.31 R5.6.30 R5.7.31 小計	26,670 36,120 41,835 104,625	給食可燃物(生ごみ、紙くず)の収集運搬処分業務	随契1号(少額)単価契約
6	給食不燃物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	122,650	122,650	0	122,650	随契	自R5.4.14 至R6.3.31	R5.5.31 R5.6.30 R5.7.31 小計	9,680 9,955 14,575 34,210	給食不燃物の収集運搬処分業務	随契1号(少額)単価契約
7	防鼠防虫業務	㈱アルバイエ・エンタープライズ	92,400	92,400	0	92,400	随契	自R5.4.12 至R6.3.31			防鼠・防虫業務	随契1号(少額)
	事務関係計	7件	149,742,112	146,732,270	0	146,732,270				27,682,393		
	合計	7件	149,742,112	146,732,270	0	146,732,270				27,682,393		
参考1	機械警備業務	セコム(株)		5,808,000	391,710	6,199,710		至R1.10.1 至R6.9.30			富士高校外9校の機械警備業務	1長期 富士高校
参考2	自家用電気工作物保安管理業務	(一財)関東電気保安協会沼津事業本部		1,928,740	0	1,928,740		自R5.4.1 至R6.3.31			吉原工業高校外5校の電気工作物の保安管理点検業務	吉原工業高校
参考3	消防用設備等保守点検業務	サンコー防災(株)		12,320,000	0	12,320,000		自R5.4.1 至R6.3.31			富士宮東高校外9校の消防設備等保守点検業務	富士宮東高校
参考4	プール浄化装置保守点検業務	(有)石川メンテナンス		190,080	0	190,080		自R5.4.13 至R5.10.31			富士東高校外8校のプール浄化装置保守点検業務	富士東高校
参考5	浄化槽保守点検業務	(有)石川メンテナンス		562,100	0	562,100		自R5.4.1 至R6.3.31			富士宮西高校外2校の浄化槽保守点検業務	富士宮西高校
参考6	可燃物収集運搬処分業務	(有)東亜美装		単価契約 運搬料1回につき21,258円 処分料1kg15円	0	単価契約 運搬料1回につき21,258円 処分料1kg15円		自R5.4.6 至R6.3.29			吉原高校外4校の可燃物収集運搬処分業務	吉原高校 単価契約
参考7	可燃物収集運搬処分業務	(株)静岡総合処理センター		単価契約 運搬料1回につき3,850円 処分料1kg15円	0	単価契約 運搬料1回につき3,850円 処分料1kg15円		自R5.4.10 至R6.3.29			富士宮西高校外4校の可燃物収集運搬処分業務	富士宮西高校 単価契約
参考8	ガスヒートポンプ点検業務	(株)ユアーズ静岡		1,287,000	0	1,287,000		自R5.6.1 至R5.8.25			富士宮北高校外5校のガスヒートポンプ点検業務	富士宮北高校
	計	8件										

□□□□□

## 負担金支出調

(令和4年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
					円	
1	富士地区安全運転管理協会年会費	富士地区安全運転管理協会 会長	会則による	安全運転管理に関する啓発、広報	25,000	4.5.31
2	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会長	会則による	知的障害教育振興並びに会員の研修	5,000	4.7.22
3	全国特別支援学校知的障害教育校長会会費	全国特別支援学校知的障害教育校長会会長	会則による	知的障害教育振興並びに会員の研修	11,000	4.10.31
4	安全運転管理者講習会手数料	一般社団法人静岡県安全運転管理協会	会則による	安全運転管理に関する啓発、広報	4,500	4.12.6
計		4件	/	/	45,500	/

□□□□□

## 負担金支出調

(令和5年度)

(令和5年7月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
					円	
1	富士地区安全運転管理協会年会費	富士地区安全運転管理協会 会長	会則による	安全運転管理に関する啓発、広報	25,000	5.4.28
2	甲種防火管理新規講習受講料	静岡市防災協会	会則による	甲種防火管理者新規資格取得講習	5,100	5.5.8
3	第46回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会参加費	第46回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会北海道(札幌)・北海道地区研究協議会大会実行委員長	会則による	第46回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会	3,000	5.7.12
4	安全運転管理者講習会手数料	一般社団法人静岡県安全運転管理協会	会則による	安全運転管理に関する啓発、広報	4,500	5.7.25
5	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会長	会則による	知的障害教育振興並びに会員の研修	5,000	5.7.28
計		5件	/	/	42,600	/

□□□□□

# 建 築 工

令和4年度該当なし

(参考)

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	富士特別支援学校南棟外壁修繕他工事	富士市大淵地内	円 44,671,000	円 43,450,000	円 0
		合 計	1件	44,671,000	43,450,000	0

事

調

(令和5年度)

(令和5年7月31日現在)

額	契約締結方法	受注者	着手完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
計							
円	一般	井上建設(株)	R5. 8. 2 R6. 1. 23	円	南棟(鉄筋コンクリート造 地上2階建 延床面積1,578㎡)の屋上防水及び外壁修繕工事	—	本庁経理 建築管理局 建築工事課
43,450,000				0			
43,450,000				0			



□□□□□

# 公 有 財 産 調

(本 校)

(令和4年度)

区 分	令和4年3月31日 現 在		増		減		令和5年3月31日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	
行政財産	/	千円 1,240,479	/	千円 0	/	千円 48,446	/	千円 1,192,033	
土 地	m <sup>2</sup> 19,096.54	542,887	0	0	0	0	m <sup>2</sup> 19,096.54	542,887	
立木竹	本 36	2,647	0	0	0	0	本 36	2,647	
建 物	m <sup>2</sup> 5,162.39 <hr/> 9,476.98	589,470	0	0	0	40,179	m <sup>2</sup> 5,162.39 <hr/> 9,476.98	549,291	
工作物	個 102	105,475	0	0	0	8,267	個 102	97,208	
公有財産 に準ずる もの	/	305	/	0	/	0	/	305	
電 話 加入権	件 4	305	0	0	0	0	件 4	305	

□□□□□

# 公 有 財 産 調

(富士宮分校)

(令和4年度)

区 分	令和4年3月31日 現 在		増		減		令和5年3月31日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	
行政財産	/	千円 511,653	/	千円 0	/	千円 8,865	/	千円 502,788	
土 地	m <sup>2</sup> 5,043.26	329,973	0	0	0	0	m <sup>2</sup> 5,043.26	329,973	
建 物	m <sup>2</sup> 815.40 <hr/> 1,205.24	152,942	0	0	0	6,608	m <sup>2</sup> 815.40 <hr/> 1,205.24	146,334	
工作物	個 23	28,738	0	0	0	2,257	個 23	26,481	
公有財産 に準ずる もの	/	0	/	0	/	0	/	0	
電 話 加入権	件 2	0	0	0	0	0	件 2	0	

□□□□□

# 公 有 財 産 調

(令和5年度)

(本 校)

(令和5年7月31日現在)

区 分	令和5年3月31日 現 在		増		減		令和5年7月31日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	
行政財産	/	千円 1,192,033	/	千円 0	/	千円 0	/	千円 1,192,033	
土 地	m <sup>2</sup> 19,096.54	542,887	0	0	0	0	m <sup>2</sup> 19,096.54	542,887	
立木竹	本 36	2,647	0	0	0	0	本 36	2,647	
建 物	m <sup>2</sup> 5,162.39 <hr/> 9,476.98	549,291	0	0	0	0	m <sup>2</sup> 5,162.39 <hr/> 9,476.98	549,291	
工作物	個 102	97,208	0	0	0	0	個 102	97,208	
公有財産 に準ずる もの	/	305	/	0	/	0	/	305	
電 話 加入権	件 4	305	0	0	0	0	件 4	305	

□□□□□

# 公 有 財 産 調

(令和5年度)

(富士宮分校)

(令和5年7月31日現在)

区 分	令和5年3月31日 現 在		増		減		令和5年7月31日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	
行政財産	/	千円 502,788	/	千円 0	/	千円 0	/	千円 502,788	
土 地	m <sup>2</sup> 5,043.26	329,973	0	0	0	0	m <sup>2</sup> 5,043.26	329,973	
建 物	m <sup>2</sup> 815.40 <hr/> 1,205.24	146,334	0	0	0	0	m <sup>2</sup> 815.40 <hr/> 1,205.24	146,334	
工作物	個 23	26,481	0	0	0	0	個 23	26,481	
公有財産 に準ずる もの	/	0	/	0	/	0	/	0	
電 話 加入権	件 2	0	0	0	0	0	件 2	0	

□□□□□

## 借 地 借 家 等 調

(令和5年7月31日現在)

整理 番号	区 分	種 別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契 期 約 間	所有者又 は契約者 氏 名	用 途
				台 帳	現 況		単 価	年 額			
1	土地	学校 敷地	富士市大淵3472	畑	畑	m <sup>2</sup> 1,115.00	円 —	円 無償	R5.4.1 ～ R6.3.31	個人	学校農園
	計					1,115.00					

□□□□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和5年度)

(令和5年7月31日現在)

区分	事業名又は契約名	内 容	契 約 額	(契約額の年度別内訳)			
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
長期継続契約	学校給食業務委託契約	学校給食業務 (契約日) 令和2年8月6日	48,953,520	円 10,878,560	円 16,317,840	円 16,317,840	円 5,439,280
	スクールバス運行管理業務委託契約	スクールバス運行管理業務 (契約日) 令和3年5月26日	16,082,000		4,730,000	5,676,000	5,676,000

□□□□□

## 行政財産貸付・使用許可調

(令和5年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	富士市大淵3773-1	学校敷地	学校敷地	支線1条	1,500	円 1,500	R 3. 4. 1 ～ R 8. 3. 31	西日本電信電話(株)静岡支店長	電柱敷地
2	"	"	"	"	"	本柱3本 支線2条	"	7,500	R 4. 4. 1 ～ R 9. 3. 31	東京電力パワーグリッド(株)富士支社長	"
3	"	"	"	"	"	本柱1本 支線1条	"	3,000	H31. 4. 1 ～ R 6. 3. 31	"	"
4	"	"	"	"	"	2.8m 2.59㎡	-	1,580	R 5. 4. 1 ～ R 6. 3. 31	富士市長	地下埋設物(上水道管)防護コンクリート
5	"	"	"	"	"	㎡ 9.88	-	免除	R 2. 4. 1 ～ R 7. 3. 31	"	防災倉庫
6	建物	事務所建	"	北棟	R C造 2 F建	0.11㎡	-	"	R 2. 4. 1 ～ R 7. 3. 31	"	防災用無線施設
7	土地	学校敷地	富士宮市宮北町233	学校敷地	学校敷地	支線柱 1本 支線1条	1,500	3,000	R 3. 4. 1 ～ R 8. 3. 31	東京電力パワーグリッド(株)富士支社長	電柱敷地
8	"	"	"	"	"	本柱1本	"	1,500	R 3. 4. 1 ～ R 8. 3. 31	西日本電信電話(株)静岡支店長	"
9	"	"	"	"	"	6.60㎡	-	免除	R 2. 4. 1 ～ R 7. 3. 31	富士宮市琴平区長	防災倉庫
10	"	"	"	"	"	4.50㎡	-	"	R 5. 4. 1 ～ R 6. 3. 31	"	家庭廃棄物集積箱
11	"	"	"	"	"	0.25㎡	-	"	R 5. 4. 1 ～ R 8. 3. 31	富士土木事務所	道路灯
12	建物	事務所建	"	校舎	S造 2 F建	266.91㎡	-	"	R 5. 4. 7 ～ R 5. 4. 10	富士宮市選挙管理委員会	静岡県議会議員選挙及び富士宮市議会議員選挙、富士宮市長選挙投票所
13	"	"	"	"	"	"	-	"	R 5. 4. 21 ～ R 5. 4. 24	"	"
14	工作物	囲障	富士宮市宮北町233	ネットフェンス	UNメッシュフェンス	4.64㎡	-	"	R 5. 3. 10 ～ R 5. 4. 30	"	静岡県議会議員選挙及び富士宮市議会議員選挙、富士宮市長選挙ポスター掲示場
合計								18,080			

## 主 要 備 品 調

(令和5年7月31日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	2-1	レーザープリンター・スキャナ	インクジェットプリンター	教材作成用 毎日（年間200日）	平成31年2月	円 3,024,000
2	6-2	金属加工工作機器	旋盤	作業実習用 週1回（年間40日）	平成10年3月	2,551,500
3	10-99	その他の教育用器具	電気陶芸窯	陶芸授業用 週3回（年間120日）	平成24年3月	2,268,000
4	1-13	その他の厨房器具	真空冷却機	給食調理用 毎日（年間185日）	平成19年3月	2,047,500
5	1-13	加熱器具	スチームコンベクションオープン10段 インジェクション式	給食調理用 毎日（年間185日）	令和3年3月	1,903,000
6	1-13	加熱器具	スチームコンベクションオープン10段 インジェクション式	給食調理用 毎日（年間185日）	令和3年3月	1,903,000
7	2-1	パーソナルコンピュータ(一式)	県立学校ICT環境整備機器一式	情報教育等の授業用 毎日（年間200日）	令和2年1月	1,744,270
8	1-13	食品食器洗浄機	食品食器洗浄機	給食食器洗浄用 毎日（年間185日）	平成21年10月	1,554,000
9	2-1	パーソナルコンピュータ(一式)	県立学校ICT環境整備機器一式	情報教育等の授業用 毎日（年間200日）	令和2年1月	1,466,773
10	2-2	放送装置	放送装置 1系統(10局)	校内放送用 毎日（年間200日）	令和2年1月	1,391,500
11	10-99	その他の教育用器具	電気陶芸窯（引出式）	陶芸授業用 週2回（年間80日）	平成23年3月	1,365,000
12	2-1	パーソナルコンピュータ周辺機器	パーソナルコンピュータ周辺機器	授業における視聴覚教材及び情報教育用週4回（年間160日）	令和1年9月	1,261,516
13	10-99	その他の教育用器具	横きり盤	作業実習用 週2回（年間80日）	平成23年3月	1,156,000
14	1-99	その他の庁用器具	校旗	行事用 随時（年間12日）	平成3年3月	1,143,300
15	1-13	食品食器洗浄機	消毒保管庫 電気式 両面扉 5段	給食食器洗浄用 毎日（年間185日）	令和3年3月	1,100,000
16	1-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー 天吊型 5HP	教室用空調設備 夏季・冬季（年間80日）	平成29年8月	885,600
17	1-13	調理器具	調理器具 小型フードスライサー	給食調理用 毎日（年間185日）	平成21年3月	850,500
18	10-7	鍵盤楽器	電子型グランドピアノ	授業における視聴覚教材用週2回（年間80日）	平成16年3月	845,250
19	1-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー 天吊型 5HP	教室用空調設備 夏季・冬季（年間80日）	平成28年8月	842,400
20	1-7	製本機	コレータ（自動丁合機） ステーブルパンチ付	教材及び資料作成用 週1回（年間40日）	令和5年3月	808,500



□□□□□

## 公務中の事故等に関する調

1 現金、財産及び占有動産の亡失・損傷事故

該当なし

2 公務災害（通勤災害を含む。）

番号	受傷年月日	職名	認定年月日	治癒年月日	事故等の概要とその後の状況
1	令和4年11月29日	教諭	令和5年6月20日	令和5年1月17日	腰椎捻挫 係活動の指導中に、バランスを崩し倒れた生徒を受け止めた際、腰に負荷がかかった。
2	令和5年7月10日	教諭	令和5年8月14日	令和5年7月21日	左前腕創傷感染症 登校指導中に、座り込んで動かない生徒を抱きかかえた際、腕を噛まれて負傷した。

3 公務中における交通事故

(1) 発生状況

区分	件数	事故の内訳		
		加害事故 (過失割合50%超)	被害事故 (過失割合50%以下)	その他 (過失割合が不明なもの等)
令和2年度	0	0	0	0
令和3年度	0	0	0	0
令和4年度	0	0	0	0
令和5年度	0	0	0	0

(2) 監査対象期間中の事故

該当なし

4 その他

該当なし

□□□□□

## 工事中の事故に関する調

### 1 工事中の事故発生状況

(令和5年7月31日現在)

区 分	第 三 者 事 故					工事等の関係者事故				もらい事故 (負傷者あり)	
	件 数	死 亡	重 傷	軽 傷	損害のみ	件 数	死 亡	重 傷	重症以外	件数	死傷
令和3年度	0件	0人	0人	0人	0件	0件	0人	0人	0人	0件	0人
令和4年度	0件	0人	0人	0人	0件	0件	0人	0人	0人	0件	0人
令和5年度	0件	0人	0人	0人	0件	0件	0人	0人	0人	0件	0人

### 2 事故等の内容

該当なし

□□□□□

## 前回の監査結果等改善状況調

### 1 定期監査

前回監査 令和4年11月17日

前回監査対象期間 令和3年8月1日～令和4年7月31日

区 分	改 善 状 況
1 指 摘 該当なし	
2 注 意 該当なし	
3 意 見 該当なし	
4 指 導 該当なし	

## 職 員 調 (本校)

(令和5年7月31日現在)

整理 番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
1	校長	滝尾 彰彦		□□□	□ □	□□□□□□
2	副校長	高橋 潤子		□□□	□ □	□□□□□□
3	教頭	村上 智美		□□□	□ □	□□□□□□
4	事務長	堀水 里和	事務総括	□□□	□ □	□□□□□□
5	教諭	稲葉 道彦	小4	□□□	□ □	□□□□□□
6	教諭	石田 政久	小5	□□□	□ □	□□□□□□
7	教諭	袴田 かおり	中2	□□□	□ □	□□□□□□
8	教諭	高橋 次夫	高2	□□□	□ □	□□□□□□
9	教諭	田中 健一郎	高3	□□□	□ □	□□□□□□
10	教諭	一杉 茂樹	小3, 4	□□□	□ □	□□□□□□
11	教諭	神田 いずみ	高	□□□	□ □	□□□□□□
12	教諭	若月 浩和	高2	□□□	□ □	□□□□□□
13	教諭	宮永 千恵子	小2	□□□	□ □	□□□□□□
14	教諭	渡辺 あゆみ	小	□□□	□ □	□□□□□□
15	教諭	遠藤 あつ子	高1	□□□	□ □	□□□□□□
16	教諭	安藤 桂子	中	□□□	□ □	□□□□□□
17	教諭	松下 智昭	高2	□□□	□ □	□□□□□□
18	教諭	高橋 真理	小4	□□□	□ □	□□□□□□
19	教諭	岡田 治美	訪問	□□□	□ □	□□□□□□
20	教諭	井上 ゆかり	小5, 6	□□□	□ □	□□□□□□
21	教諭	中村 啓恵	高1	□□□	□ □	□□□□□□
22	教諭	滝 生世	中1	□□□	□ □	□□□□□□
23	教諭	横山 仁美	小	□□□	□ □	□□□□□□
24	教諭	望月 伸哉	高3	□□□	□ □	□□□□□□
25	教諭	秋山 登志夫	高1, 2	□□□	□ □	□□□□□□
26	教諭	樽林 晴美	小	□□□	□ □	□□□□□□
27	教諭	岡部 公子	中	□□□	□ □	□□□□□□
28	教諭	清水 笛子	小6	□□□	□ □	□□□□□□
29	教諭	門林 嘉樹	中2, 3	□□□	□ □	□□□□□□
30	教諭	有賀 一郎	小6	□□□	□ □	□□□□□□
31	教諭	濱西 知子	中3	□□□	□ □	□□□□□□
32	教諭	秋山 好久	小6	□□□	□ □	□□□□□□
33	教諭	袴田 朗子	小1, 2	□□□	□ □	□□□□□□
34	教諭	竹下 哲之	小学部主事	□□□	□ □	□□□□□□
35	教諭	山川 裕子	高等部主事	□□□	□ □	□□□□□□
36	教諭	伊藤 清子	小3, 4	□□□	□ □	□□□□□□
37	教諭	渡辺 晴子	中学部主事	□□□	□ □	□□□□□□
38	教諭	佐藤 みゆき	高3	□□□	□ □	□□□□□□
39	教諭	土屋 ふみ	中	□□□	□ □	□□□□□□
40	教諭	中 玲子	中1	□□□	□ □	□□□□□□
41	教諭	田村 茂美	小6	□□□	□ □	□□□□□□
42	教諭	土屋 純子	小1, 2	□□□	□ □	□□□□□□
43	教諭	林 有紀子	中1	□□□	□ □	□□□□□□
44	教諭	堀 香寿美	高1	□□□	□ □	□□□□□□
45	教諭	小林 幸子	訪問	□□□	□ □	□□□□□□
46	教諭	鈴木 正彦	高1	□□□	□ □	□□□□□□

(令和5年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
47	教諭	佐藤 絵里香	中1	□□□	□ □	□□□□□□
48	教諭	山田 三保子	小3	□□□	□ □	□□□□□□
49	教諭	植松 亜矢子	小1	□□□	□ □	□□□□□□
50	教諭	奥田 君子	高1, 2	□□□	□ □	□□□□□□
51	教諭	村井 恵里子	中1	□□□	□ □	□□□□□□
52	教諭	高梨 僚子	高2	□□□	□ □	□□□□□□
53	教諭	加藤 悠	小5	□□□	□ □	□□□□□□
54	教諭	盛田 美枝子	高1	□□□	□ □	□□□□□□
55	教諭	土井 香	小2	□□□	□ □	□□□□□□
56	教諭	木村 瞳	高3	□□□	□ □	□□□□□□
57	教諭	蛭川 友美	高2	□□□	□ □	□□□□□□
58	教諭	山本 健太郎	中2	□□□	□ □	□□□□□□
59	教諭	渡邊 千晴	高2	□□□	□ □	□□□□□□
60	教諭	山内 英次	高3	□□□	□ □	□□□□□□
61	教諭	佐原 佳世	高3	□□□	□ □	□□□□□□
62	教諭	仁藤 正訓	高1	□□□	□ □	□□□□□□
63	教諭	吉田 三四郎	高3	□□□	□ □	□□□□□□
64	教諭	田崎 真佐子	高2	□□□	□ □	□□□□□□
65	教諭	前田 千佳子	高3	□□□	□ □	□□□□□□
66	教諭	加藤 淳子	高3	□□□	□ □	□□□□□□
67	教諭	佐野 美帆	中1	□□□	□ □	□□□□□□
68	教諭	鈴木 友香	小5	□□□	□ □	□□□□□□
69	教諭	佐藤 理	中2	□□□	□ □	□□□□□□
70	教諭	大久保 彩	小2	□□□	□ □	□□□□□□
71	教諭	赤池 智美	小6	□□□	□ □	□□□□□□
72	教諭	大村 孝行	高	□□□	□ □	□□□□□□
73	教諭	渡井 千織	小4	□□□	□ □	□□□□□□
74	教諭	三宅 美智子	中2, 3	□□□	□ □	□□□□□□
75	教諭	岩田 大悟	中3	□□□	□ □	□□□□□□
76	教諭	佐藤 由佳	中1	□□□	□ □	□□□□□□
77	教諭	渡邊 祥子		□□□	□ □	□□□□□□
78	教諭	杉山 香里	中1	□□□	□ □	□□□□□□
79	教諭	中村 徹	中3	□□□	□ □	□□□□□□
80	教諭	杉山 わかな	中2	□□□	□ □	□□□□□□
81	教諭	山本 佐智子	小3	□□□	□ □	□□□□□□
82	教諭	太田 由貴	中2	□□□	□ □	□□□□□□
83	教諭	平釜 正裕	高2	□□□	□ □	□□□□□□
84	教諭	高柳 文乃	小1, 2	□□□	□ □	□□□□□□
85	教諭	野田 順子	中2	□□□	□ □	□□□□□□
86	教諭	藤田 健太郎	中2	□□□	□ □	□□□□□□
87	教諭	望月 早	中3	□□□	□ □	□□□□□□
88	教諭	加藤 奈央	高3	□□□	□ □	□□□□□□
89	教諭	加藤 廣貴	小1	□□□	□ □	□□□□□□
90	教諭	小山 真琴		□□□	□ □	□□□□□□
91	教諭	若林 穂高	小1	□□□	□ □	□□□□□□
92	教諭	倉澤 亜希	小3, 4	□□□	□ □	□□□□□□
93	教諭	岩沢 みさと	中3	□□□	□ □	□□□□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
94	教諭	飯野 ひかる	小1	□□□	□ □	□□□□□□
95	教諭	中村 浩代	小1	□□□	□ □	□□□□□□
96	教諭	金井 あゆ美	小3, 4	□□□	□ □	□□□□□□
97	教諭	戸澤 信弥	高2	□□□	□ □	□□□□□□
98	教諭	川口 愛実		□□□	□ □	□□□□□□
99	教諭	荒川 あさ子	小1, 2	□□□	□ □	□□□□□□
100	教諭	荻原 紗也佳		□□□	□ □	□□□□□□
101	教諭	鈴木 祥夫	中3	□□□	□ □	□□□□□□
102	教諭	仲野 知香	高2	□□□	□ □	□□□□□□
103	教諭	藤井 優		□□□	□ □	□□□□□□
104	教諭	遠藤 準也	小2	□□□	□ □	□□□□□□
105	教諭	山梨 美雪		□□□	□ □	□□□□□□
106	教諭	櫻井 輝	中2	□□□	□ □	□□□□□□
107	教諭	杉田 有希	高3	□□□	□ □	□□□□□□
108	教諭	渡邊 智之	高2	□□□	□ □	□□□□□□
109	教諭	柿崎 亜由美		□□□	□ □	□□□□□□
110	教諭	瀬戸 奈苗	小6	□□□	□ □	□□□□□□
111	教諭	藤野 綾香	小5	□□□	□ □	□□□□□□
112	教諭	鈴木 滋子		□□□	□ □	□□□□□□
113	教諭	北村 健	小3	□□□	□ □	□□□□□□
114	教諭	秋山 周佑	小1	□□□	□ □	□□□□□□
115	教諭	進士 沙季		□□□	□ □	□□□□□□
116	教諭	鈴木 身江子	高1	□□□	□ □	□□□□□□
117	教諭	山田 麻衣	高1	□□□	□ □	□□□□□□
118	教諭	羽柴 由佳		□□□	□ □	□□□□□□
119	教諭	杉浦 公枝	小1, 2	□□□	□ □	□□□□□□
120	教諭	風岡 秀彰	高1	□□□	□ □	□□□□□□
121	教諭	豊田 茂稔	高1	□□□	□ □	□□□□□□
122	教諭	佐野 綾香		□□□	□ □	□□□□□□
123	教諭	溝口 黎	中2, 3	□□□	□ □	□□□□□□
124	教諭	石井 涼	中3	□□□	□ □	□□□□□□
125	教諭	後藤 亜季	小4	□□□	□ □	□□□□□□
126	教諭	鷺尾 来美		□□□	□ □	□□□□□□
127	教諭	松原 悠馬	高1	□□□	□ □	□□□□□□
128	教諭	砂川 茜	中2	□□□	□ □	□□□□□□
129	教諭	時田 憲人	小6	□□□	□ □	□□□□□□
130	教諭	宇田 樹	高3	□□□	□ □	□□□□□□
131	教諭	小原澤 憲人	高1, 2	□□□	□ □	□□□□□□
132	教諭	三村 徳優	小6	□□□	□ □	□□□□□□
133	教諭	土屋 充	小4	□□□	□ □	□□□□□□
134	教諭	松代 紗季	小3	□□□	□ □	□□□□□□
135	教諭	松永 智行	小3	□□□	□ □	□□□□□□
136	教諭	福重 愛	高3	□□□	□ □	□□□□□□
137	教諭	田中 洋平	中1	□□□	□ □	□□□□□□
138	教諭	松浦 佑樹	中1	□□□	□ □	□□□□□□

(令和5年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
139	教諭	小林 まり		□□□	□ □	□□□□□□
140	教諭	前田 大地	小2	□□□	□ □	□□□□□□
141	教諭	林 宗太朗	小5	□□□	□ □	□□□□□□
142	教諭	酒井 さつき	高3	□□□	□ □	□□□□□□
143	教諭	駒野 良太	小5, 6	□□□	□ □	□□□□□□
144	教諭	太田 力斗	小1, 2	□□□	□ □	□□□□□□
145	教諭	原田 彩華	小5, 6	□□□	□ □	□□□□□□
146	教諭	藤原 友美佳	高1	□□□	□ □	□□□□□□
147	教諭	清 光里	高3	□□□	□ □	□□□□□□
148	教諭	鈴木 瞭太郎	中1	□□□	□ □	□□□□□□
149	教諭	遠藤 美祐	高3	□□□	□ □	□□□□□□
150	教諭	池谷 亮子	小2	□□□	□ □	□□□□□□
151	教諭	佐藤 雅洋	中1	□□□	□ □	□□□□□□
152	教諭	中井 春花	小1	□□□	□ □	□□□□□□
153	教諭	山本 春菜	小4	□□□	□ □	□□□□□□
154	教諭	佐野 百花		□□□	□ □	□□□□□□
155	教諭	神戸 あかり	高1, 2	□□□	□ □	□□□□□□
156	教諭	森下 智尋	小3	□□□	□ □	□□□□□□
157	教諭	杉山 美乃莉	小5	□□□	□ □	□□□□□□
158	教諭	笹原 亜美	小5	□□□	□ □	□□□□□□
159	教諭	佐野 琴乃	小2	□□□	□ □	□□□□□□
160	教諭	室伏 真依	小4	□□□	□ □	□□□□□□
161	教諭	渡井 万智	高2	□□□	□ □	□□□□□□
162	教諭	長谷川 葉月	小2	□□□	□ □	□□□□□□
163	養護教諭	金森 美幸	保健衛生	□□□	□ □	□□□□□□
164	養護教諭	山浦 万莉子	保健衛生	□□□	□ □	□□□□□□
165	栄養教諭	眞田 麻貴	給食	□□□	□ □	□□□□□□
166	主査	野田 梨江	給与	□□□	□ □	□□□□□□
167	主任	大島 嵩矢	就学奨励費・管財	□□□	□ □	□□□□□□
168	主事	後藤 悠	会計	□□□	□ □	□□□□□□
平均年数					□ □	

## 付記

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭（任期付）	永田 恵	中2	□□□	□ □	□□□□□□
2	教諭（任期付）	新川 美鈴	高3	□□□	□ □	□□□□□□
3	教諭（任期付）	小林 庸子	高3	□□□	□ □	□□□□□□
4	教諭（任期付）	青木 尚	小5, 6	□□□	□ □	□□□□□□
5	教諭（任期付）	遠藤 真美	小6	□□□	□ □	□□□□□□
6	教諭（任期付）	千田 裕子	小1	□□□	□ □	□□□□□□
7	教諭（任期付）	平見 希	中1	□□□	□ □	□□□□□□
8	教諭（任期付）	早野 忍	中3	□□□	□ □	□□□□□□
9	教諭（任期付）	江島 綾子	小3	□□□	□ □	□□□□□□
10	教諭（任期付）	南畑 瑞恵	小5	□□□	□ □	□□□□□□
11	教諭（任期付）	露木 玲衣奈	小1	□□□	□ □	□□□□□□
12	教諭（任期付）	伊藤 百合絵	高1, 2	□□□	□ □	□□□□□□
13	教諭（任期付）	辻野 俊一	中3	□□□	□ □	□□□□□□
14	教諭（任期付）	成生 麻衣子	小5, 6	□□□	□ □	□□□□□□
15	教諭（任期付）	佐野 真紀	小4	□□□	□ □	□□□□□□
16	教諭（任期付）	羽山 佐由美	中2, 3	□□□	□ □	□□□□□□
17	教諭（臨時）	長谷川 たか子	訪問	□□□	□ □	□□□□□□
18	教諭（臨時）	屋比久 美由紀	小1	□□□	□ □	□□□□□□
19	教諭（臨時）	相川 久美	小3	□□□	□ □	□□□□□□
20	教諭（臨時）	大塚 知恵	高1	□□□	□ □	□□□□□□
21	教諭（臨時）	横山 千絵	小1	□□□	□ □	□□□□□□
22	教諭（臨時）	清 裕一	中2	□□□	□ □	□□□□□□
23	教諭（臨時）	安藤 龍太郎	高3	□□□	□ □	□□□□□□
24	実習支援指導員	赤尾 ひとみ	実習支援指導員	□□□	□ □	□□□□□□
25	初任者研修指導員（養護）	角田 とくゑ	初任者指導	□□□	□ □	□□□□□□
26	医療的ケア看護職員	佐藤 雅子	看護師	□□□	□ □	□□□□□□
27	医療的ケア看護職員	外園 愛梨	看護師	□□□	□ □	□□□□□□
28	医療的ケア看護職員	青木 裕子	看護師	□□□	□ □	□□□□□□
29	医療的ケア看護職員	内藤 利恵	看護師	□□□	□ □	□□□□□□
30	医療的ケア看護職員	三原 由香	看護師	□□□	□ □	□□□□□□
31	非常勤講師	諏訪部 絵美	社会人活用（音楽療法）	□□□	□ □	
32	非常勤嘱託員	山本 由起子	事務職員	□□□	□ □	
33	非常勤嘱託員	桑原 翔平	実習支援員	□□□	□ □	
34	非常勤嘱託員	宮崎 太孝	実習支援員	□□□	□ □	
35	非常勤労務職員	岡本 知恵美	校内介助	□□□	□ □	
36	非常勤労務職員	松原 愛	校内介助	□□□	□ □	
37	非常勤労務職員	本多 明子	バス添乗	□□□	□ □	
38	非常勤労務職員	内田 光恵	バス添乗	□□□	□ □	
39	非常勤労務職員	杉山 潔乃	バス添乗	□□□	□ □	
40	非常勤労務職員	鈴木 百合子	バス添乗	□□□	□ □	
41	非常勤労務職員	宮澤 誠二	バス添乗	□□□	□ □	
42	非常勤労務職員	大澤 一仁	バス添乗	□□□	□ □	
43	非常勤労務職員	高橋 英子	バス添乗	□□□	□ □	
44	非常勤労務職員	佐藤 夕喜子	新型コロナスタッフ	□□□	□ □	
45	非常勤労務職員	瀧島 沙弥香	新型コロナスタッフ	□□□	□ □	
46	非常勤労務職員	金森 美智子	新型コロナスタッフ	□□□	□ □	



整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
47	非常勤労務職員	吉野 君子	新型コロナスタッフ	□□□	□ □	
48	非常勤労務職員	篠原 育夫	用務員	□□□	□ □	
49	非常勤労務職員	渡邊 泉	用務員	□□□	□ □	
50	スクールカウンセラー	石川 誠	臨床心理士	□□□	□ □	□□□□□□
51	健康管理医	黒岩 達	内科	□□□	□ □	□□□□□□
52	校医	川上 正人	内科	□□□	□ □	□□□□□□
53	〃	阿部 素郎	眼科	□□□	□ □	□□□□□□
54	〃	渡邊 高弘	耳鼻科	□□□	□ □	□□□□□□
55	〃	小野 恒光	歯科	□□□	□ □	□□□□□□
56	薬剤師	石田 浩史	調剤	□□□	□ □	□□□□□□

## 職 員 調 (富士宮分校)

(令和5年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
1	教頭	川上 健治		□□□	□ □	□□□□□□
2	教諭	松本 進	高2	□□□	□ □	□□□□□□
3	教諭	松尾 佳代	高1	□□□	□ □	□□□□□□
4	教諭	佐野 緑	高1	□□□	□ □	□□□□□□
5	教諭	山下 憲市	高等部主事	□□□	□ □	□□□□□□
6	教諭	土屋 和洋	高3	□□□	□ □	□□□□□□
7	教諭	小林 三浩	高1	□□□	□ □	□□□□□□
8	教諭	岩谷 麻衣子	高1	□□□	□ □	□□□□□□
9	教諭	村松 昇	高3	□□□	□ □	□□□□□□
10	教諭	森 華奈	高2	□□□	□ □	□□□□□□
11	教諭	遠藤 純基	高1	□□□	□ □	□□□□□□
12	教諭	大河原 明希子	高3	□□□	□ □	□□□□□□
13	教諭	後藤 大河	高3	□□□	□ □	□□□□□□
14	教諭	田中 健太	高3	□□□	□ □	□□□□□□
15	教諭	山田 裕亮	高2	□□□	□ □	□□□□□□
16	教諭	城内 咲由利		□□□	□ □	□□□□□□
17	教諭	佐野 李奈	高3	□□□	□ □	□□□□□□
18	教諭	渥美 友貴	高2	□□□	□ □	□□□□□□
19	教諭	早藤 光輝	高2	□□□	□ □	□□□□□□
20	教諭	塩川 敬大	高3	□□□	□ □	□□□□□□
21	教諭	相磯 早希	高2	□□□	□ □	□□□□□□
22	養護教諭	川村 恭子	保健衛生	□□□	□ □	□□□□□□
23	主査	石井 ちずる	会計	□□□	□ □	□□□□□□
平均年数					□ □	

## 付記

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
1	教諭 (任期付)	稲葉 香織	高2	□□□	□ □	□□□□□□
2	教諭 (臨時)	宮崎 礼生	高1	□□□	□ □	□□□□□□
3	非常勤労務職員	田邊 享子	用務員	□□□	□ □	
4	健康管理医	北川 安男	内科	□□□	□ □	□□□□□□
5	校医	戸塚 盛計	内科	□□□	□ □	□□□□□□
6	〃	鈴木 高広	耳鼻科	□□□	□ □	□□□□□□
7	〃	天神 光充	眼科	□□□	□ □	□□□□□□
8	〃	森本 達也	歯科	□□□	□ □	□□□□□□
9	薬剤師	渡辺 恭秀	調剤	□□□	□ □	□□□□□□

□□□□□

## 職 員 調 (富士東分校)

(令和5年7月31日現在)

整理 番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
1	副校長	山崎 勝之		□□□	□ □	□□□□□□
2	教諭	ニムプラサート 滋美	高1	□□□	□ □	□□□□□□
3	教諭	岩附 敦史	高等部主事	□□□	□ □	□□□□□□
4	教諭	杉澤 陵太	高1	□□□	□ □	□□□□□□
5	教諭	長田 翔太	高1	□□□	□ □	□□□□□□
6	教諭	大河原 浩信	高1	□□□	□ □	□□□□□□
7	養護教諭	加藤 栄里	保健衛生	□□□	□ □	□□□□□□
8	主査	遠藤 裕紀子	会計	□□□	□ □	□□□□□□
平均年数					□ □	

## 付記

整理 番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
1	教諭 (任期付)	長野 美穂	高1	□□□	□ □	□□□□□□
2	非常勤労務職員	遠藤 多麻樹	用務員	□□□	□ □	
3	健康管理医	土屋 厚子	内科	□□□	□ □	□□□□□□
4	校医	清水 千枝	内科	□□□	□ □	□□□□□□
5	〃	長谷川 剛	耳鼻科	□□□	□ □	□□□□□□
6	〃	小森 雅彦	眼科	□□□	□ □	□□□□□□
7	〃	齋藤 充良	歯科	□□□	□ □	□□□□□□
8	薬剤師	三浦 正継	調剤	□□□	□ □	□□□□□□

## 職 員 の 年 齢 調

(令和5年7月31日現在)

年 齢	人 員 (人)				摘 要
	本 校	富士宮分校	富士東分校	合 計	
20 歳未満	0	0	0	0	
20 歳以上 30 歳未満	31	3	0	34	
30 歳以上 40 歳未満	57	11	3	71	
40 歳以上 50 歳未満	39	5	2	46	
50 歳以上 56 歳未満	17	3	1	21	
56 歳以上 61 歳未満	20	1	1	22	
61 歳以上	4	0	1	5	本校：再任用4人 富士東分校：再任用1人
計	168	23	8	199	

平均年齢      40.9歳      39.8歳      46.3歳

## 健 康 管 理

### 1 4年度受診状況

区 分	内 容	本校	富士宮 分校	富士東 分校
受 診 状 況	受 診 者 数	168人	23人	
	職 員 数	168人	24人	
受 診 率	100.0 %			
県平均受診率	100.0 %			

(1) 未受診の理由

□□□□□

□ 人

### 2 5年度在籍者の健康管理区分結果

健康管理区分		人数		
		本校	富士宮 分校	富士東 分校
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。			
B1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要治療		
B2		要経過観察		
C1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要治療		
C2		要経過観察		
D1	平常の勤務でよい。	要治療	13人 (13)	8人 (8)
D2		要経過観察	24人 (24)	8人 (8)
D3		医療不要	119人 (119)	6人 (6)
区 分 者 計			156人 (156)	22人 (22)
未区分者数			12人 (12)	1人 (1)
合 計			168人 (168)	23人 (23)

(1) 管理区分A～C2該当者  
に対する措置状況

(2) 未区分の理由 (本校)

ア □□□□□ □ 人  
 イ □□□□□ □ 人  
 ウ □□□□□ □ 人  
 エ □□□□□ □ 人

未区分の理由 (富士宮分校)

ア □□□□□ □ 人  
 イ □□□□□ □ 人  
 ウ □□□□□ □ 人  
 エ □□□□□ □ 人

未区分の理由 (富士東分校)

ア □□□□□ □ 人  
 イ □□□□□ □ 人  
 ウ □□□□□ □ 人  
 エ □□□□□ □ 人